

令和元年度
事業報告

社会福祉法人緑樹会

— 目 次 —

◆法人本部	01
◆総合福祉センター緑樹苑	
*介護老人福祉施設緑樹苑	
・介護老人福祉施設緑樹苑	12
・緑樹苑短期入所（ショートステイ）	21
・緑樹苑給食センター	25
*在宅サービスセンター	
・緑樹苑デイサービスセンター	31
・緑樹苑居宅サービス事業所（訪問介護・障害福祉）	41
・緑樹苑居宅介護支援事業所	48
・沖縄市地域包括支援センター西部北	54
・みどり学童クラブ	60
◆ケアハウスはいびすかす	67
◆ケアハウスていんさぐぬ花	77

法人本部 事業報告

1. 総括

社会福祉法人緑樹会が創立 40 周年を迎え、法人主催の行事、公益的な取組みを 40 周年冠事業として実施。記念事業として遊歩道の整備、パンフレットのリニューアルを行った。

地域包括ケアシステム構築においては、事業の要である地域包括支援センターが多岐にわたる地域ニーズへの対応業務に質・量が求められ、それに伴う職員負担、収支状況等の運営課題に対し、地域包括支援センターの継続的運営の方法を模索する為、他地域包括支援センター母体法人の訪問を実施し、情報・課題の共有を図った。また、委託元である沖縄市に他受託法人も含めた法人運営者レベルでの会議を開催するよう要請した。開催された会議において意見が交わされ、その後の書類作成の軽減、沖縄市による受託地域包括支援センターの個別聞き取り調査に繋がった。

法人の慢性的な課題である人員不足については、学校訪問や就職説明会等、様々な方法で人材確保に努めてきたが課題解決には至っていない。その中において、外国人の活用を再考し、令和 2 年度の人員配置の手段として外国人インターンシップ生（インドネシア）の受入れを申請した。

今年度新設された特定処遇改善加算については、令和 2 年度に向けて、技能・経験がある職員の処遇改善を継続的かつ統一的に図る為、事業所ごとに行った特定処遇改善加算を法人一括で申請した。

2. 運営状況

法人全体における事業収入は前年度比 0.83%増と前年度並みの収入を確保し、総合福祉センター建替基本構想に基づいて、施設整備積立金を積み立てた。積立額については予定している人材確保ができていない等の要因等から、予算削減に伴い前年比 1.87%の収支差額の増額があり、年度目標を上回る積立額となった。

理事会・評議員会の開催等、令和元年度の運営実施スケジュールに沿って履行した。

また法人本部の諸事業を計画的に実施するとともに、各施設等との連携、事業の総合調整を図り、法人としてのガバナンス及び経営課題等の取り組みに努めた。

8 月に行われた社会福祉法人指導監査においては、随意契約時の合理的理由資料の整備のほか、会計責任者と固定資産管理責任者は兼務でなく内部牽制のできる体制にするよう口頭指導があった。

3. 事業状況

(1) 人材確保事業

①人材確保チームの発足

各施設長、課長、若手職員等による人材確保チームを 4 月に発足し、人材確保活動計画を

協議した。

チーム会議：4月、5月、8月 計5回実施

②県内の学校訪問

人材確保チームによる、県内専門学校・高等学校・支援学校・児童園等を訪問し、法人PR、情報収集、求人票の提出を行った。

③職場説明会の実施

県内専門学校に会社説明会の広報を行い、計3回（5月、6月）実施したが、参加者は0名だった。また、県社協主催の職場説明会に申し込み、求職者向けの説明会をハローワーク沖縄で実施した。

④合同企業説明会及び就職説明会への参加

県が主催する高卒者を対象とした合同企業説明会への参加や介護労働安定センター主催による就職説明会へ参加した。いずれも施設見学までは行ったものの、採用までには至らなかった。

（2）法人創立40周年記念事業

①法人パンフレット制作

法人創立40周年記念事業の一環として、各施設・事業所を紹介する法人パンフレットを一新し、情報の充実化を図るとともに、広報ツールとしての強化を図った。

②ホームページリニューアル

パンフレットの制作に合わせてホームページのリニューアルを予定していたが、パンフレットの制作完了の遅れやホームページ制作業者とのスケジュール調整がつかず、次年度へ持ち越しとなった。

③遊歩道の整備

令和元年12月に整備を完了し、地域住民も参加した完成披露会を行った。併設しているファミリーラウンジとあわせ、家族と利用者が寛いでいる姿が見られ、利用者の外出機会の創出と家族の来苑増加に繋がった。

（3）設備整備事業

介護福祉施設建替え基本構想に基づき実施。35,000,000円の目標積立額に対し、49,000,000円の設備整備積立金を積み立てた。

（4）職員研修事業

階各階層に求められる役割や考え方の浸透を図る階層別研修を実施したほか、法人内他施設・事業所業務を経験する施設間職員派遣研修を実施した。新人職員研修は年3回の実施

を予定していたが、職員採用が出来なかった為、年2回の実施となった。

研修名	内 容 等	実施	参加者
新人職員研修	「教えられ上手、育てられ上手になろう！」 講師：照屋裕子氏（オフィステルヤ）	10/22	特養 2名 デイサービス 1名 居宅支援 1名
新人職員研修 Ⅱ	「教えられ上手、育てられ上手になろう」、 講師：照屋裕子氏（オフィステルヤ）	1/17	はいびすかす 1名 ていんさぐ 1名 デイサービス 1名 学童クラブ 1名
新人フォロー アップ研修	「初心忘れるべからず！」 ～でもいつまでも初心じゃいられない！～ 講師：照屋裕子氏（オフィステルヤ）	1/24	特養 1名 居宅支援 1名
ステップアッ プⅠ研修	「〇〇の階段を昇ろう！」 講師：照屋裕子氏（オフィステルヤ）	8/16	特養 1名 ていんさぐ 1名 デイサービス 1名 訪問介護 1名 居宅支援 1名
ステップアッ プⅡ研修	「あなたの見方はかたよっている」～思い込 みやクセは直る～ 講師：照屋裕子氏（オフィステルヤ）	11/28	特養 2名 ていんさぐ 1名 デイサービス 1名
中堅職員研修 Ⅰ	「私がやらねばだれがやる」 講師：照屋裕子氏（オフィステルヤ）	5/24	特養 1名 はいびすかす 1名 デイサービス 1名 訪問介護 1名 居宅支援 1名 包括 1名
中堅職員研修 Ⅱ	「私はどんな人？」 講師：照屋裕子氏（オフィステルヤ）	11/22	特養 2名 ていんさぐ 1名 デイサービス 1名 包括 1名
中堅職員研修 Ⅲ	「一期一会の気持ち」 ～最後だとわかっていたなら～ 講師：照屋裕子氏（オフィステルヤ）	1/31	デイサービス 1名 訪問介護 1名 居宅支援 1名 学童クラブ 1名
係長・主任研 修Ⅰ	「調整力を高めよう！」～中間管理職に求め られること～	4/12	特養 1名 デイサービス 1名

	講師：照屋裕子氏（オフィステルヤ）		訪問介護 2名 居宅支援 1名 地域包括 1名 学童クラブ 1名
プレ管理者 （課長・係 長）研修	「風が吹けば桶屋が儲かる」～緑樹会が儲 かるとは～ 講師：照屋裕子氏（オフィステルヤ）	12/19	特養 3名 ていんさぐ 1名 デイサービス 1名 訪問介護 1名
虐待防止研修	「他山の石とせよ！」 講師：照屋裕子氏（オフィステルヤ）	6/20	特養 2名 はいびすかす 1名 ていんさぐぬ 1名 デイサービス 1名 訪問介護 1名 居宅支援 1名
施設間職員 派遣研修	他事業の業務を経験し、視野を広めると共に 派遣事業所のサービス向上を図る気づきを 伝える。	7/23 7/24 7/25	特養 1名 ていんさぐ 1名 デイサービス 1名
定年退職者 研修	令和 2 年 3 月末で定年退職を迎える職員を 対象に、継続雇用や税制面についての基礎知 識を学ぶ。 講師：社会保険労務士 比嘉正人氏	8 月	6 名
マネジメント と職員意識の 向上に向けた 研修・勉強会	経営者及び管理職における経営の基本姿勢 とマネジメント力の向上、各事業の収支分析 等 講師：富田将孝税理士	毎月	各事業所管理者 等
研修委員会	研修内容の改善、職員の資質向上に関する提 案等		各事業所課長・ 係長等

（５）広報事業

法人の経営理念及び事業内容等を広く発信することを目的に、広報紙「竹とんぼ」を毎月発行し、法人の事業や各施設等の行事、利用者の活動等を紹介した。

また、併せてホームページによる法人情報の公開やお知らせ等の情報を発信した。

①広報誌「竹とんぼ」の発行

- ・毎月 1 日（第 218 号～第 229 号発行）＊HP に掲載あり

②ホームページによる広報の充実強化

- ・新着情報 25 回（竹とんぼ・ぬちぐすい新聞の掲載を含む）

- ・法に基づく法人情報（定款、現況報告、決算書類等）の公開
- ・法人創立 40 周年記念事業の一環として予定していたホームページのリニューアルができなかったことにより、ページ内容の充実強化には至らなかった。

③地域ネットワークを活用した広報活動

地域包括支援センターと連携し、西部北地区の自治会等の訪問、法人行事へ自治会長等の招待、地域住民向けの法人事業説明会（包括主催：ぬちぐすい講座）を行った。

（6）主催行事及び地域における公益的な取組み推進事業

利用者の生きがいや社会福祉事業に対する地域社会の理解を深め、地域に開かれ社会福祉法人として貢献するため、下記の事業を実施した。

敬老会はNBCを会場に法人全体で新百歳、風車、米寿、生年祝い対象者をそのご家族とともに盛大に祝った。今回から家族で撮影できる記念撮影コーナーを設置した。

地域交流グラウンドゴルフ大会は年々参加者が増加し、ゲームや閉会式までの待ち時間が出ることから、輪投げコーナー等の対策を行ったが、課題解決には至らず、次年度以降の運営見直しが必要である。

地域における公益的な取組みは、にこにこ宅配サービス、デイサービス食事無料サービス、地域活動団体への活動支援を行った。

①敬老会の開催

- ・開催日：令和元年9月16日（日）
- ・場 所：NBC日本ブライダルセンターホール
- ・内 容：新百歳、風車、米寿、生年祝い対象者13名をご家族とともに祝う。来賓挨拶、ご家族による余興、スライドショー、記念品贈呈、民謡ショー等を実施。
- ・参加者数：142名

②地域交流グラウンドゴルフ大会の開催

- ・開催日：令和元年6月21日（金）
- ・場 所：沖縄県総合運動公園 屋内競技場レクドーム
- ・内 容：沖縄市内に居住する高齢者を中心に健康増進と交流を図る。
- ・参加者数：20団体 228名

③にこにこ宅配サービス

- ・提供人数 3名 計24食

④デイサービス利用者食事無料サービス

- ・提供 8,131食

⑤地域活動団体への活動支援

- ・地域の朗読グループや沖縄市国際交流協会会員のエイサー練習の練習場所として会議室や中庭駐車場の提供を行った。

(7) 後援会運営支援事業

緑樹会の事業及び運営を支援するための後援会事業として、新年会等を開催し、家族会や協力業者、法人職員を含めた会員相互の親睦を図った他、利用者サービスに繋がる記念品の贈呈を行った。礼楽塾については、各礼楽塾講座の終了等に伴い、運営支援等は未実施となった。

①後援会役員会の実施

- ・開催月：5月
- ・場所：ケアハウスはいびすかす会議室
- ・参加者数：8名
- ・内容等：平成30年度活動報告（案）、決算報告（案）令和元年度活動計画（案）予算（案）、寄贈品について

②後援会総会の開催

- ・開催月：6月
- ・場所：ケアハウスていんさぐぬ花
- ・参加者数：46名
- ・余興等：デイサービスレク体験（輪投げ）

③寄贈品贈呈

- ・開催月：12月
- ・場所：総合福祉センター中庭
- ・寄贈品：プランター10個 じょうろ2個 噴霧器1機

④後援会新年会の開催

- ・開催月：1月
- ・場所：ケアハウスていんさぐぬ花
- ・参加者数：69名
- ・余興等：ビンゴゲーム

⑤礼楽塾の運営

- ・開催月：通年
- ・場所：総合福祉センター緑樹苑他
- ・参加者数：延べ78名（月平均：6.5名）
- ・開催：着付け、王府おもろ

(8) 運営事務事業

①新設処遇改善加算への対応キャリアパス要件・職場環境等要件への取り組み

特定処遇改善加算Ⅰの申請に向け、現行のキャリアパスを整備し、より具体的なキャリアパスの構築を図ったが、役職、職種、勤続年数（他事業所含む）等における様々な条件の整

合性をまとめることができず、現行キャリアパスでの特定処遇改善加算計画書（特定加算Ⅰ）策定となった。

職場環境要件への取り組みは、介護職員の事務負担軽減を図る為、記録用タブレットの導入支援を行った。

②P D C Aサイクルによる計画的な事業運営

各事業計画の執行状況を幹部会議及び施設長等会議において検証を行い、達成状況を確認し、計画的な事業運営に努めた。

③各種委員会及び会議の運営

<緑樹会第三者委員会>

福祉サービスにおける第三者委員会において、平成30年度の苦情・ヒヤリハット・事故等の概要と対応の状況、その後の対策について報告を行い、第三者委員からの意見等を基に検討・協議を行った。

- ・開催日時：令和元年6月10日
- ・出席者数：第三者委員3名 苦情解決責任者1名 苦情受付担当者1名
各施設担当者5名
- ・内 容：平成30年度 苦情・ヒヤリハット・事故に関する報告及び検討

<安全衛生委員会>

職員の安全衛生管理及び災害の未然防止と、職場環境の改善、職員の健康・衛生の保持増進を推進し、円滑に職務の遂行ができるよう下記のテーマについて検討及び協議、講話等を開催した。

開催月	テーマ	対象・講師等	参加者
4月	安全衛生に関する基礎知識について	安全衛生委員会	7名
5月	ストレスチェック実施スケジュール等について	安全衛生委員会	8名
6月	ラインによるケア研修会	講師：石川ちえみ (中部地区医師会検診センター)	15名
6月	ストレスチェック実施について	安全衛生委員会	8名
8月	職場環境職員アンケート内容について ストレスチェック結果報告について	安全衛生委員会	5名
9月	有休取得状況について	安全衛生委員会	7名
9月	働き方改革セミナー	講師：比嘉正人 (社会保険労務士法人クローバー)	13名

10月	職場環境職員アンケート調査結果について	安全衛生委員会	6名
11月	インフルエンザ予防接種受診結果報告 職員の健康管理について	安全衛生委員会	7名
12月	職員生きがいづくり講座（寄せ植え教室）	講師：大城未沙登 （幸和ガーデン）	20名
12月	各施設の腰痛予防対策の取り組みについて 寄せ植え教室反省について	安全衛生委員会	5名
1月	次年度計画（案）について 労働災害報告	安全衛生委員会	5名
2月	健康診断・人間ドックの受け方について	安全衛生委員会	7名
3月	今年度の反省について	安全衛生委員会	6名

<幹部会>

- ・開催日：毎月（第1・3・5金曜日）
- ・開催数：26回
- ・内 容：各施設・事業所等の情報共有、業務の課題等の審議、具体的な方策など、事業経営全般にわたる検討、協議、事業実施の決議などを行った。

<施設長会>

- ・開催日：原則毎月2回（第2・4金曜日）
- ・開催数：24回
- ・内 容：諸規程に関する改定案、理事会・評議員会への議事の素案検討、職員採用、給与体系、人事異動また各施設における課題等について検討及び提案。施設経営における各施設間の調整等を図った。

<課長等会>

- ・開催日：毎月（第2・4金曜日）
- ・開催数：11回（うち、兼研修委員会4回）
- ・内 容：各施設の情報等の共有、報告事項の周知、法人全体及び各施設の課題の解決・改善を図ると共に、現場における具体的な意見等を提起し、課題解決に向けた取り

組みを実施した。隔週での定期開催を予定していたものの、現場の人員不足等による対応の為、開催数が11回となった。

<法人監査>

- ・開催日時：令和元年5月14日・15日 二日間
- ・監 事：新垣暁子監事、山城未来監事
- ・内 容：平成30年度事業及び会計監査

<評議員会>

①第1回評議員会（定時評議員会）

- ・開催日時：令和元年6月14日
- ・出席者数：評議員7名 監事2名
- ・議案内容：平成30年度事業報告について
平成30年度計算書類及び財産目録の承認について
定款の変更（案）について
次期役員を選任（案）について

<理事会>

①第1回理事会

- ・開催日時：令和元年5月24日
- ・出席者数：理事5名 監事2名
- ・議案内容：平成30年度事業報告（案）及び決算（案）の承認について
定款の改正（案）について
次期役員候補（案）について
令和元年度第1回評議員会（定時評議員会）の招集について
苦情への対応に関する第三者委員の交代について
緑樹苑の嘱託医、ケアハウスの医療受診体制、法人の産業医について
国保連による実地調査について（はいびすかす）
令和元年度第2回理事会について

②第2回理事会

- ・開催日時：令和元年6月14日
- ・出席者数：理事5名 監事2名
- ・議案内容：理事長の選定について
常務理事（業務執行理事）の選定について
令和元年度第一次補正予算（案）について

③第3回理事会

- ・開催日時：令和元年10月30日
- ・出席者数：理事6名 監事2名
- ・議案内容：令和元年度第二次補正予算（案）について
理事長職務執行状況の報告
常務理事（業務執行理事）職務執行状況の報告
社会福祉法人及び社会福祉施設一般監査状況報告
ケアハウスはいびすかすの人員・運営状況について
外国人インターンシップ事業について

④第4回理事会

- ・開催日時：令和2年3月12日
- ・出席者数：理事6名 監事2名
- ・議案内容：令和元年度第二次補正予算（案）について
理事長職務執行状況の報告
常務理事（業務執行理事）職務執行状況の報告
介護保険施設等実地指導について
令和2年度経営方針について
令和元年度第三次補正予算（案）について
組織経営規程の改定（案）について
就業規則の改定（案）について
給与規程の改定（案）について
令和2年度事業計画（案）の承認について
令和2年度収支予算（案）の承認について

総合福祉センター緑樹苑

*介護老人福祉施設緑樹苑

*在宅サービスセンター

介護老人福祉施設緑樹苑 事業報告

1. 総括

令和元年度の入居者の介護度は、4、5で81%を占め、入居者の重度化や、90歳以上が26%と高齢化が進んだ。

年度の退去者は41名で、亡くなった方が33名、そのうち看取り介護で亡くなった方は26名であり、過去5年間では最も多い人数となった。看取り介護は、過去5年間の平均の5.2倍と増えた。増加した要因は、看取り介護実施にあたり嘱託医から家族に十分な説明が行われ、家族の同意を得ることができたことによる。

入居者の健康管理については、水分補給と口腔ケアの強化、また体調不良者の早めの病院受診等を行い、入院者は延べ50人で前年度より48人の減（-51%）、入院日数は455日で、前年度より443日の減（-50.7%）となった。入院日数の減は、看取り介護対象者が増え、入院が無くなったことも要因の一つであった。

感染症については、インフルエンザは年度を通して罹患者はいなかった。

全国的な広がりを見せている新型コロナウイルス感染症に関する対策としては、令和2年2月14日に沖縄で発生してからは、面会制限を実施、また、「高齢者介護施設における感染対策マニュアル改訂版」や「社会福祉施設等における新型コロナウイルスへの対応の徹底について」など、国の感染拡大防止に関する通知等を踏まえ、入居者、職員等へ感染拡大防止に努めるよう周知を徹底した。

令和2年1月に行われた、沖縄県介護保険実地指導では、①事故発生の防止のための研修が規定通り行われていない。②入所者の入退所について、居宅において日常生活を営むことができるかどうかについて定期的に検討されていない。③入所者の意思及び人格を尊重したサービス提供について、入所者の食事テーブルと椅子の高さがあっていない。退所者が残していった衣類を着用させ続ける等、入所者の意思及び人格が尊重されていない。④介護職員による喀痰吸引等の実施について、資格を持たない介護職員が当該行為を実施している。また、職員の退職、異動に対しての認定特定行為業務従事者の変更届がなされていないこと等の事項で是正改善を要する通知があり、それぞれについて是正改善状況報告を行った。

2. 運営状況

稼働率は、入院日数は減になったものの、退所者が前年度の2.5倍となり、入所者の調整で516日の空床（前年度133日）が生じたため、目標の95%に届かず94.5%に減少した（前年度実績95.3%）。

人材確保は、4名のパート介護職員の採用を行ったが、退職者は常勤職員3名、パート職員4名と、人材確保は依然厳しい状況であった。そのため常勤職員の超過勤務時間は、前年度より555時間増え、合計1,290時間となった。（前年度月平均1人3.1時間、今年度5.4時間）

3. 事業状況

(1) 人材育成

施設及び法人主催の各種研修会への参加や沖縄県、九州、全国の老人福祉施設協議会主催の研究大会に職員の派遣を行った。

①施設内研修 実施

施設内研修においては、研修ごとに担当職員自身が資料作成、講師役を担った。

	研修名	参加人数
4月	褥瘡予防	12名
5月	身体拘束適正化・虐待防止	7名
6月	食中毒予防	9名
7月	苦情対応について	8名
8月	認知症について	8名
9月	身体拘束適正化・虐待防止	9名
	iPad 導入介護記録について	12名
10月	感染症予防	8名
11月	看取り介護	5名
12月	事故防止	7名
1月	認知症	7名
2月	感染症予防	7名
3月	看取り介護	8名
	事故防止	9名

②本部研修・講座 実施

月	研修名	参加人数
4月	管理職研修（係長、主任）	1名
5月	中堅職員研修	1名
6月	管理者研修「ラインによるケア研修会」	4名
	虐待防止研修	2名
7月	施設間職員派遣研修	1名
8月	ステップアップ研修	1名
9月	働き方改革について	2名
10月	新人職員研修	2名
11月	ステップアップ研修	2名
	中堅職員研修	2名

12月	管理職研修（課長、係長）	3名
1月	新人職員フォローアップ研修	1名

③施設外研修 実施

月	場 所	研修名	参加人数
5月	沖縄県総合福祉センター	栄養士連絡会	1名
6月	南部地域医師会	沖縄県在宅医療研修	1名
7月	浦添市産業振興センター	福祉栄養士研修会	1名
	佐賀県佐賀文化会館	九州社会福祉施設協議会連合会	1名
8月	オール電化体験施設	嚥下食の調理実習	2名
9月	沖縄県中部保健所	口腔ケア研修会	2名
	ケアハウスはいびすかす	介護者向けの医療勉強会	4名
	緑樹苑	5法人研修会「褥瘡、インフルエンザについて」	2名
10月	愛媛県松山市民会館	全国老人福祉施設職員研究会議	1名
11月	沖縄県総合福祉センター	沖縄県老人福祉施設職員研究会議	3名
	沖縄県総合福祉センター	栄養士連絡会	1名
	沖縄市民会館	高齢者虐待防止	1名
12月	ちゅうざん病院	摂食嚥下研修	1名
	中部徳洲会病院	地域緩和ケアチーム勉強会	4名
	中部徳洲会病院	看護セミナー	1名
1月	沖縄県医師会館	入退院支援連携に関する基本指針	1名
	沖縄県総合福祉センター	看護師連絡会	1名
2月	ホシザキ沖縄 北谷ショールーム	沖縄県老施協栄養士連絡会	1名

④介護福祉士実務者研修支援 実施

実務経験3年以上の職員3名に実務者研修に係る費用の助成を行った結果2名が介護福祉士に合格。その他の支援として、介護福祉士国家試験当日までに、受験対象者に模擬試験を実施した。

(2) 入居者処遇

①レク活動充実 実施

入居者のニーズに応えられるよう、ICTの活用で、カラオケクラブ、ミニシアターの日の設定や職員による紙芝居等活動の充実を図ることができた。

②入居者の低栄養リスクの改善・予防 実施

栄養マネジメントに基づき、入居者の栄養状態の改善、維持に努め、栄養状態を良好

に保つことを継続して行った。

③口腔衛生管理の充実 実施

歯科医師の指示を受けた歯科衛生士の協力のもと、口腔ケアについて具体的な技術的助言及び指導を受け、協働して口腔ケアスキルをあげていく。また、質の良い口腔ケアを提供することで、誤嚥性肺炎を予防することに努めた。

(3) 非常災害時の対応について 実施

災害発生時における職員の役割分担や基本行動等について、マニュアル及び計画書の作成を行った。

(4) ICTの活用について 実施

①看護及び介護記録の業務負担を軽減するために、Wi-Fi の設置で、その場で記録した内容が、そのままほのぼのケア記録システムに反映されるケアパレット (iPad 端末) を導入し、記録時間の軽減を図ることができた。

②入居者の娯楽を広げるために、B 食堂と同じように、C 食堂にも Wi-Fi 設置で iPad を活用し、映画鑑賞、カラオケ大会等ができるようになった。

(5) 環境整備 未実施

1 階ファミリーガーデンを入居者及び家族が便利に利用できるように、車椅子用テーブルの作成や花木の配置の工夫を行う計画であったが、未実施で次年度計画をしていく。

(6) LED電球の導入について 一部実施

居室等の蛍光灯器具は老朽化が進んできていて、安定器の故障で使用できない蛍光灯などもあるため、LED電球への切り替えを図ったが、廊下、階段等のバッテリー切れになっている非常用照明器具を優先にLED蛍光灯へ取替を行った。居室等の蛍光灯は次年度に計画的に切り替えを行っていく。

(7) 経費節減 実施

電力節減の見える化システム (スマートクロック) の活用で、電気料金については、前年度と比較して 4.8% の削減をすることができた。

4. 行事・活動等 実施

(1) 年間計画報告

月	行事名	参加人数
4 月	入居者健康診断 (4/5)	58 名
	誕生会 (4/26)	38 名

5月	母の日祝い会 (5/10)	36名
	誕生会 (5/24)	32名
6月	父の日祝い会 (6/13)	31名
	地バーリー (6/15)	38名
	誕生会 (6/28)	32名
7月	七夕まつり (7/5)	34名
	誕生会 (7/19)	36名
	消防訓練 (消防署届出) (7/26)	30名
8月	夏まつり (8/9)	30名
	苑内エイサー (8/14)	32名
	誕生会 (8/30)	33名
9月	敬老会 (9/13)	38名
	法人敬老会 (9/16)	58名
	誕生会 (9/27)	33名
10月	入居者健康診断 (10/7)	48名
	運動会 (10/11)	38名
	誕生会 (10/25)	32名
11月	遠遊会 (11/19)	5名
	誕生会 (11/22)	44名
12月	誕生会 (12/13)	24名
	消防訓練 (消防署届出) (12/20)	30名
	沖縄市福祉まつりドライブ (12/22)	6名
	クリスマス忘年会 (12/24)	44名
1月	新年会 (1/3)	38名
	初詣 (1/8)	5名
	誕生会 (1/17)	45名
2月	誕生会 (2/28)	40名
3月	誕生会 (3/27)	34名

(2) 実習・ボランティア受入

月	実習名	参加人数
8月	教員免許特例法に基づく介護等体験	3名
9月	教員免許特例法に基づく介護等体験	1名
12月	高校生インターンシップ	6名

(3) クラブ活動状況

クラブ名	回数 (年度)	参加人数 (1 回当たり)
ミニシアター	42	35
カラオケ	35	32
音楽鑑賞	30	33

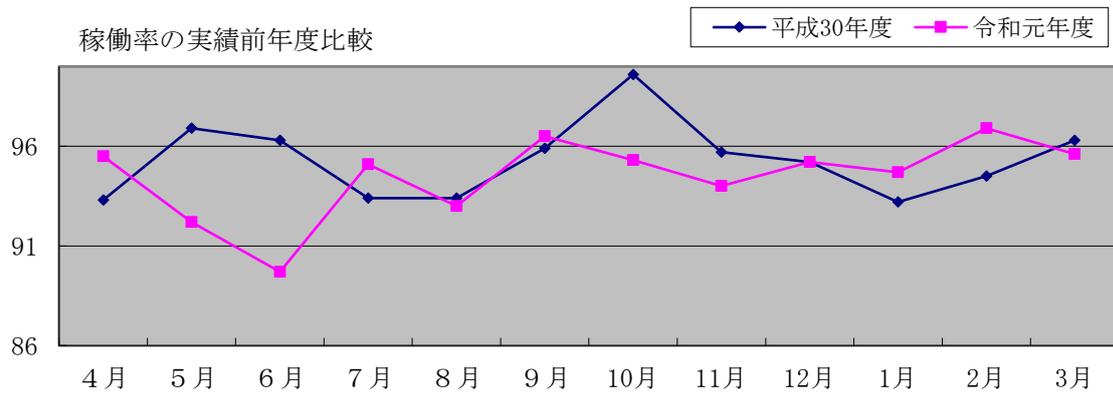
(4) その他

月	内 容
4 月	衆議院沖縄県第 3 区選出議員選挙不在者投票 職員全体会議及び職員互助会総会
5 月	簡易水道検査 害虫駆除及びマット消毒 (亜土消毒)
6 月	後援会総会 沖縄県老人福祉施設長等会議 苦情処理第三者委員会 法人創立 40 周年記念グランドゴルフ大会
7 月	消防設備等機器点検 参議院通常選挙不在者投票 家族会清掃・総会 特定加算取得セミナー
8 月	県監査
11 月	害虫駆除・マット消毒 (亜土消毒)
12 月	家族会清掃 消防設備等機器点検
1 月	後援会新年会 介護保険実施指導 令和元年度沖縄県集団指導
3 月	受水槽、高架水槽清掃

5. 利用状況について

(1) 年間実績 (利用日数) 特養 70 名

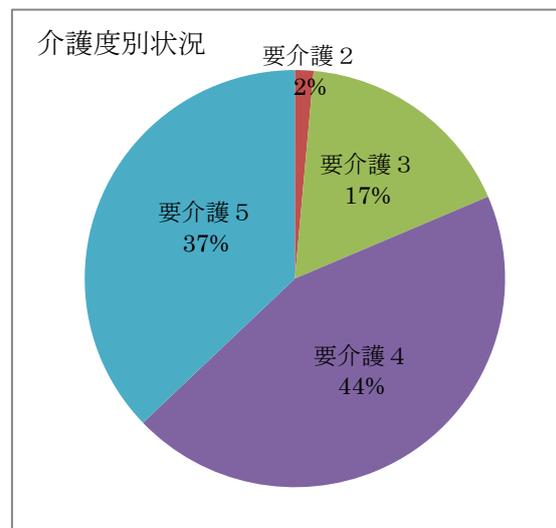
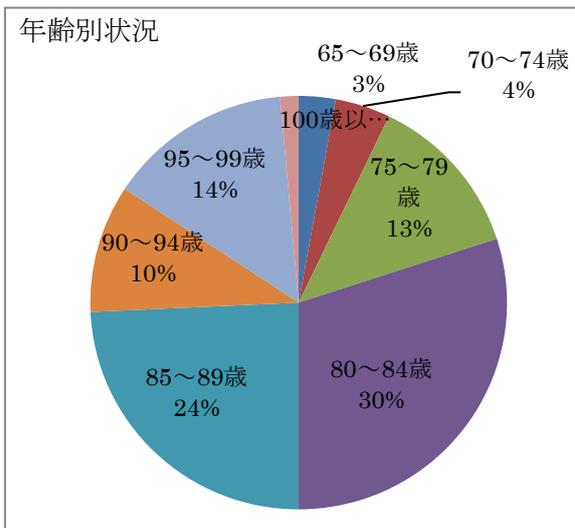
月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
特 養	2,006	2,000	1,883	2,064	2,019	2,026	2,068	1,973	2,066
稼働率	95.5	92.2	89.7	95.1	93.0	96.5	95.3	94.0	95.2
月	1 月	2 月	3 月						
特 養	2,054	1,968	2,075	24,202					
稼働率	94.7	96.9	95.6	94.5					



(2) 入居者の性別、要介護度別、年齢別の状況

介護度	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
65～69歳	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
70～74歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
75～79歳	0	0	0	0	0	0	2	1	3	3	5	4
80～84歳	0	0	0	0	1	2	5	6	2	5	8	13
85～89歳	0	0	0	1	0	4	2	7	2	1	4	13
90～94歳	0	0	0	0	1	2	1	0	0	3	2	5
95～99歳	0	0	0	0	0	2	0	4	0	4	0	10
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
計	0	0	0	1	2	10	10	21	7	19	19	51

- ・最大年齢100歳、最少年齢69歳
- ・平均年齢：男83.77歳、女87.03歳、計86.12歳
- ・平均介護度：男4.2、女4.2、計4.2



(3) 入退所状況

令和元年度の入居者数は41人（男17人、女24人）、退去者は41人（男11人、女30人）で、死亡で退去の32人のうち、26人は施設での看取り介護であった。

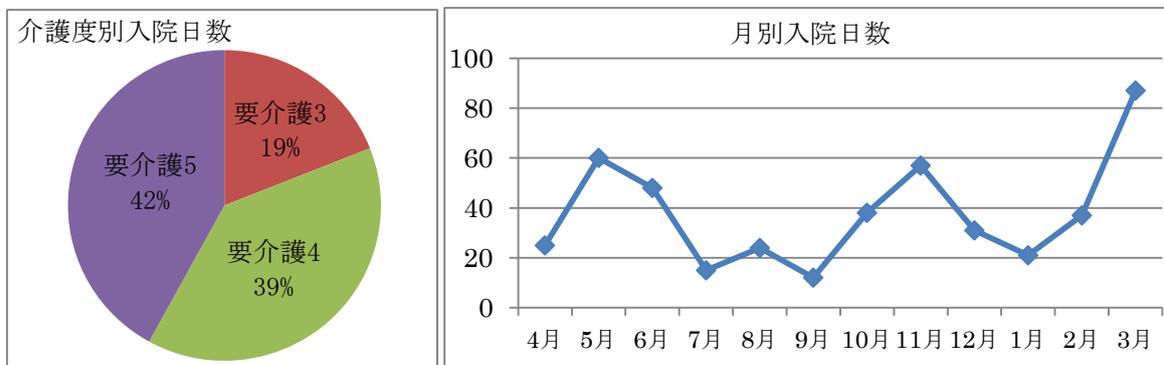
区分 月	入居			退去					
	他施設 から入居	新規 入居	計	死亡 (看取り)	医 療 機 関	療養型 医療施設	家庭	その他	計
4月	1	0	1	3 (3)	0	0	0	0	3
5月	0	3	3	3 (3)	0	1	0	0	4
6月	2	2	4	3 (2)	0	0	0	0	3
7月	1	4	5	5 (3)	1	1	0	0	7
8月	2	3	5	1 (1)	0	0	0	1	2
9月	1	2	3	1 (1)	1	1	0	0	3
10月	0	6	6	7 (5)	0	0	0	0	7
11月	0	2	2	0	0	0	0	0	0
12月	0	3	3	5 (4)	0	1	0	0	6
1月	2	3	5	4 (3)	0	0	0	0	4
2月	0	2	2	1 (1)	0	0	0	0	1
3月	0	1	1	0	0	1	0	0	1
計	9	30	39	33 (26)	2	5	0	1	41

(4) 入居者の入院状況

入院日数は、要介護4、5で81%を占め、重度化による体力低下等の傾向が表れている。月別に見ると3月が一番多く、原因は、尿路感染、肺炎による入院が主であった。

介護度別入院日数

月 区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
4月	0	0	0	11	14	25
5月	0	0	9	24	27	60
6月	0	0	0	24	24	48
7月	0	0	0	5	10	15
8月	0	0	6	5	13	24
9月	0	0	3	5	4	12
10月	0	0	0	33	5	38
11月	0	0	18	23	16	57
12月	0	0	15	16	0	31
1月	0	0	16	5	0	21
2月	0	0	13	0	24	37
3月	0	0	5	28	54	87
計	0	0	85	179	191	455



緑樹苑短期入所生活介護事業 事業報告

1. 総括

定期や新規の利用者(37名)の継続的利用で稼働率は上昇し、前年度より6.3%増の81.1%になった。

新型コロナウイルスへの対応としては、利用前日に本人の体調伺いや同居家族の発熱等の確認、そして、当日は利用前の検温を実施してもらうよう、利用者及びその家族へ理解と協力願いを行った。職員に関しては、介護老人福祉施設と同様、感染対策マニュアルや国の感染拡大防止に関する通知等を踏まえ、感染拡大防止に努めるよう周知を徹底した。

2. 運営状況

前年同様、新規利用者や長期利用があり、目標(75%)を上回り81.1%まで上昇した。

3. 事業状況

(1) 人材育成 実施(介護老人福祉施設と同様に行う)

①施設内研修 実施

月	研修名	参加人数
4月	褥瘡予防	12名
5月	身体拘束適正化・虐待防止	7名
6月	食中毒予防	9名
7月	苦情対応	8名
8月	認知症	8名
9月	身体拘束適正化・虐待防止	9名
	iPad導入による介護記録について	12名
10月	感染症予防	8名
11月	看取り介護	5名
12月	事故対策	7名
1月	認知症	7名
2月	感染症予防	7名
3月	看取り介護	8名
	事故防止	9名

②本部研修・講座 実施

月	研修名	参加人数
4月	管理職研修(係長、主任)	1名
5月	中堅職員研修	1名

6月	管理者研修「ラインによるケア研修会」	1名
	虐待防止研修	2名
7月	施設間職員派遣研修	1名
8月	ステップアップ研修	1名
9月	働き方改革について	2名
10月	新人職員研修	2名
11月	ステップアップ研修	2名
	中堅職員研修	2名
12月	管理職研修（課長、係長）	3名
1月	新人職員フォローアップ研修	2名

(2) 入居者処遇

①レク活動の充実 実施

特別養護老人ホームの計画と連動して、利用者のニーズに応えられるよう、Wi-Fiの設置でICTを活用し、カラオケクラブ、ミニシアター等多彩なレク活動メニューを実施し、活動の充実に努めた。

②健康管理 実施

健康管理については、特別養護老人ホーム看護職員等により健康状況に注意するとともに、健康保持のための、毎日のバイタルチェックを行い、適切な医療処置等も行った。退去時の際は、利用状況書に健康管理に関する必要事項を記入し、ご家族に引き継ぎを行った。

③ご家族との連携 実施

ご家族との連携を常に図るとともに、緊急時については速やかに電話連絡で、状態報告を行い、必要があれば医療機関への送迎を行った。

(3) 委員会 実施

介護老人福祉施設と同様に実施

委員会名	実施月日
感染症対策委員会	4/25、5/2、5/29、8/15、9/4、11/13、1/7、2/4、2/14、3/11
事故防止対策委員会	4/2、5/1、6/3、7/2、8/1、9/2、10/1、11/1、12/2、1/6、2/3、3/3
身体的拘束適正化委員会	4/2、5/1、6/3、6/19、7/1、7/2、7/15、9/4、12/4、3/4
苦情解決委員会	7/2、11/21

4. 経費節減 実施

毎月の実績を確認し、経費節減について職員の意識を高め、コスト管理を行い、水道光熱費及び消耗品の節減を介護老人福祉施設と同様に行った。

5. 行事計画 実施

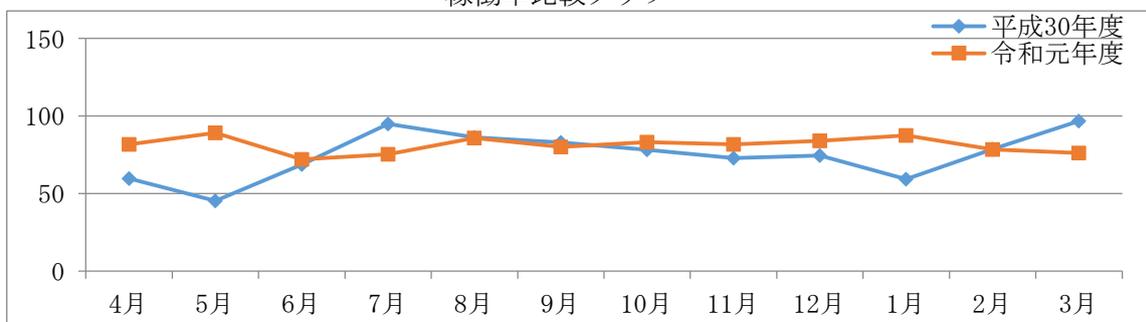
介護老人福祉施設と同様の行事計画を実施した。

6. 利用状況について

(1) 月間利用状況

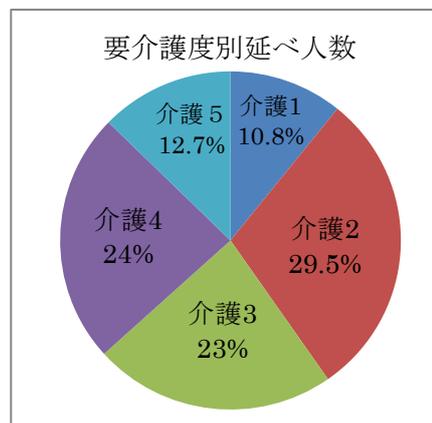
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
利用延人数	195	221	173	187	213	192	206	196	204
稼働率 (%)	81.7	89.1	72.1	75.4	85.9	80.0	83.1	81.7	83.9
月	1月	2月	3月	計					
利用延人数	217	182	189	2,375					
稼働率 (%)	87.5	78.4	76.2	81.1					

稼働率比較グラフ



(2) 要介護度別延べ人数

	男	女	計	割合 (%)
要介護 1	11	24	35	10.8
要介護 2	16	79	95	29.5
要介護 3	17	57	74	23.0
要介護 4	28	49	77	24.0
要介護 5	15	26	41	12.7
計	87	235	322	100



(3) 利用者平均要介護度

男	女	計
2.8	3.0	2.9

(4) 性別平均年齢

男	女	計
78.52	88.04	85.46

(5) 提供支援事業所別定期利用者数

	支援事業所	定期利用者(人)
1	緑樹苑居宅介護支援事業所	13
2	中部徳洲会居宅介護支援事業所	12
3	居宅介護支援事業所なかがみ	9
4	琉球メディカルズ居宅介護支援事業所	4
5	介護支援センター中部	3
6	ケアプラン愛聖	3
7	中部サンケアネット居宅介護支援事業所	2
8	一条園居宅介護支援事業所	2
9	居宅介護支援事業所きづき	2
10	沖縄ケアサポートセンター	2
11	ニチイケアセンター沖縄	2
12	長寿苑居宅	2
13	美らさん	2
14	はびねす	2
15	琉花	2
16	シオン	1
17	スマイル元気のため	1
18	居宅介護支援ニヘーデービル	1
19	有限会社在宅介護サービスひまわり	1
20	ケアプランみちしお	1
21	居宅介護支援事業所美和	1
22	地域包括支援センター西部北	1
23	オリーブ	1
24	中部協同病院	1
25	晴れ空	1
26	光が丘	1
27	寿楽	1
	計	74

緑樹苑給食センター事業報告

1. 総括

今年度は消費税の増税があり、下半期は消耗品、車両燃料費、その他等が増税の影響を受けた。台風の影響で、配食サービス 10 食・給食サービス 115 食の宅配を休止した。一日の食数減による収入に影響が出た。

給食サービスは、新規利用者獲得の厳しい状況の中、居宅介護支援事業所・地域包括センターと連携を図り、新規利用者 48 名獲得に繋がった。しかし、21 名の契約終了者があり（亡くなられた方 2 名、他施設入所 4 名・その他 15 名）入院等で、一時中止 60 名と多く前年比 107%となった。

施設及び在宅においては、幸せと喜びをお届けするとともに、管理栄養士による栄養バランスの摂れた沖縄料理、沖縄行事食、薬膳料理等を取り入れ、健康長寿食を提供し健康増進を図った。

職員においては、4月に配達員を1名、6月に1名採用する事により、弁当配達ルートに幅を広げ対応できたが、10月に配達員1名の退職があり、弁当の盛り付けや配達ルートに影響がでた。

早朝の調理師の採用は行ったが、人材の確保が厳しい状態であった。

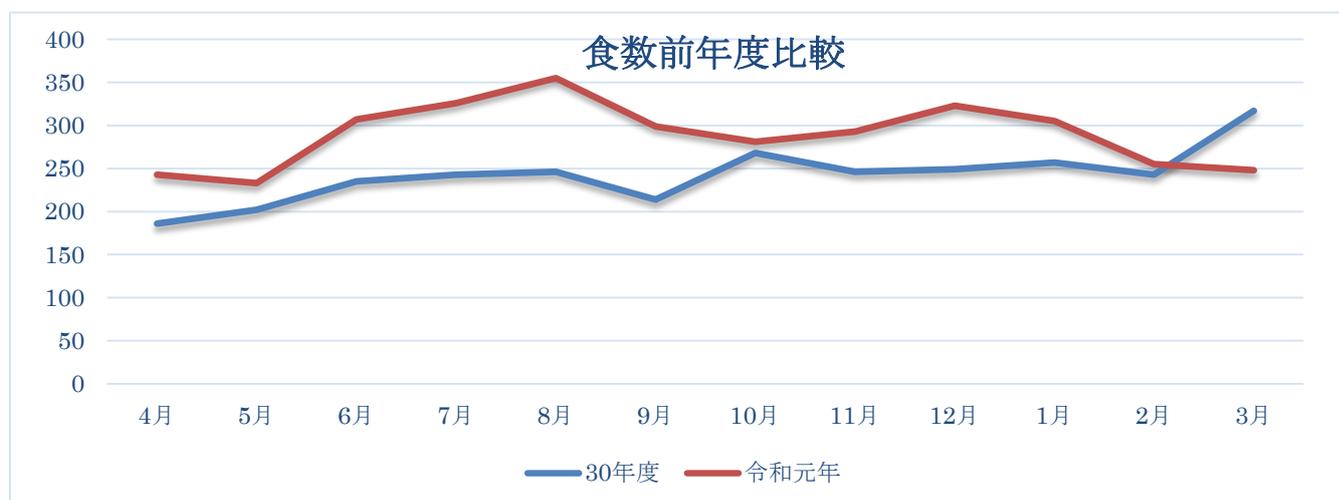
2. 運営状況

配食サービス

沖縄市の委託事業である配食サービスは、市が認めた 65 歳以上の高齢者世帯へ栄養バランスのとれた食事を月曜日～土曜日までの昼食又は、夕食上限 5 回まで宅配し安否確認を行った。年間食数 3,468 食提供した。

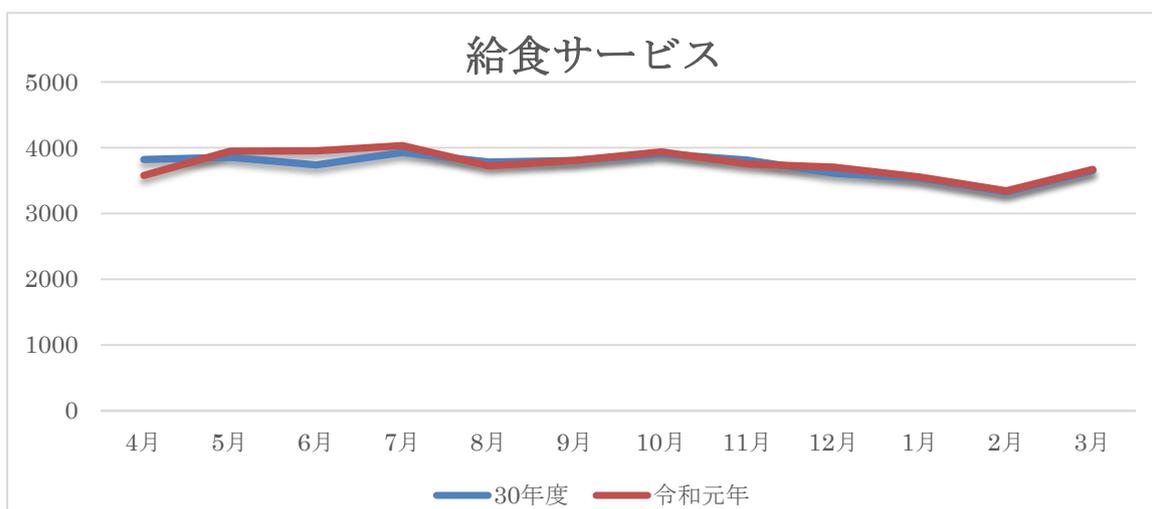
(年間食数実績)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計食数
令和元年	243	233	307	326	355	299	281	293	323	305	255	248	3,468



(年間食数実績)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計食数
令和元年	3,578	3,950	3,951	4,033	3,726	3,805	3,936	3,752	3,704	3,556	3,345	3,673	45,011



3. 事業状況

(1) 利用者へ質の良いサービス

①施設利用者・デイサービス利用者

(ア) 献立について

献立ボードを購入設置した。利用者様が見てわかりやすく、喜んでもらえるように、本日のメニューを記載し定期的に写真付きでメニューを貼り付け食事を楽しめるように努めた。

(イ) 選択食について

あらかじめ準備した、2種類のメニューから、利用者様が食べたい食事を自分で選ぶことができる選択食を実施したが、継続はできなかつた。

(ウ) 利用者とのコミュニケーションについて

現場の対応で利用者と食事をとる事ができず、実施できなかつた。

(エ) 手作りパン・ケーキについて

手作りパンの取り組みで、ホームベーカリー購入し、パン作りの研究に取り組み実施したが、誕生会・おやつ・クリスマス会等には提供はできなかつた。

②宅配サービス利用者

(ア) 栄養メモについて

管理栄養士から、カロリー表示した栄養メッセージをお伝えし、食への関心を高めてもらえるように務めた。

(イ) 利用者アンケート

利用者から声のあった、ソーメンチャンプルーやてびち・その他沖縄メニューを取り入れた食事の提供をした。

(ウ) 琉球薬膳料理・沖縄料理提供について

地元食材・季節食材・行事食のメニュー取り入れ健康食を提供した。

(エ) 父の日、母の日にプレゼント提供について

宅配契約利用者、父の日、母の日にプレゼントを提供し、今年度はクリスマスプレゼントの提供した事で、利用者の皆さんから笑顔と感謝の言葉をいただき、家族の方からお礼のお手紙を頂いた。

(2) 人材育成

施設外部研修 実施

月	場 所	研修名	参加人数
6月	沖縄県総合福祉センター	栄養士連絡会	1名
7月	沖縄県総合福祉センター	栄養士連絡会	1名
7月	福島工業宜野湾支店	料理講習会	2名
8月	沖縄県総合福祉センター	栄養士連絡会	1名
9月	かりゆしホテル	業者展示会	2名
10月	ホシザキ	料理講習会	1名
12月	沖縄県総合福祉センター	栄養士・調理員連絡会	1名
2月	ホシザキ北谷	栄養士連絡会	1名
2月	かりゆしホテル	食材展示会	2名

(3) 衛生管理

- ① 厨房内の清掃チェック表・室内の温度チェック表は作成できず実施できなかった。
- ② 厨房内の配置の見直しを行い、厨房内・倉庫に棚を設置し、整理を行い働きやすい環境に取り組んだ。
- ③ 貯水槽の清掃 3月実施
- ④ 害虫駆除（全館）5月・11月実施
(厨房) 5月・8月・11月・2月実施

(4) リスクマネジメント

- ① 緊急連絡先マニュアル
宅配利用者の日々の安否確認チェック表を作成し、緊急連絡先表を作成実施した。
- ② 食中毒事故発生時マニュアル
作成できず実施できなかった。

(5) 環境整備

①通路の整備

厨房内からホールへの出入り口の通路の設置は、見直しを行い検討した結果、実施しなかった。

②厨房機器

今年度は、導入に向け、業者からの厨房機器に関する情報収集を行い、厨房機器（プラスチック）を使用した料理の講習会にも参加して導入に向けて研究に努めた。

(6) 年間行事食 特 養

月	行事	行事食
4月	浜下り 手作りおやつ 誕生会	おでん・ンブサー・三月菓子 もちもちドーナツ 小豆御飯・豚軟骨煮付け ケーキセット
5月	ゴーヤの日 母の日交流会 母の日 手作りおやつ 誕生会	ゴーヤチャンプルー ショートケーキ等 古代米・中味汁 黒糖カステラ 小豆御飯・豚肉煮付け ケーキセット
6月	父の日交流会 地バーリー 父の日 誕生会 手作りおやつ	クワアジュシー等・ショートケーキ カレーライス・ぜんざい 古代米・揚げ出し豆腐・中味汁 枝豆御飯・ウニ焼き・ケーキセット 蒸しケーキ
7月	七夕まつり 七夕 誕生会 土用の丑 手作りおやつ	うっちゃん御飯・アーサ汁・ゼリー ハンバーグ・冷ソーメン・水ようかん 小豆御飯・中味汁・ケーキセット うな井 もちもちドーナツ
8月	旧盆ウンケー 旧盆ウークイ 誕生会 手作りおやつ	ウンケージュシー、ソーキ汁 小豆御飯・盛り合わせ 小豆御飯・チムシンジ・ケーキセット 卵蒸しパン
9月	敬老会 緑樹会敬老会 誕生会	小豆御飯・田芋りんがく・ソーキ汁 小豆御飯・盛り合わせ・中味汁 小豆御飯・豚肉煮付け・ケーキセット

	手作りおやつ	パンプディング
10月	運動会 誕生会 手作りおやつ	三食御飯・スパゲティー 赤飯御飯・中味汁 おからドーナツ
11月	誕生会 手作りおやつ	小豆御飯・盛り合わせ・ケーキセット ぜんざい
12月	誕生会 クリスマス 手作りおやつ	小豆御飯・ソーキ汁・ケーキセット スパゲティー・チキン唐揚げ・ケーキ 水ようかん
1月	元旦 年始会 七草かゆ 誕生会 旧正	小豆御飯・盛り合わせ・お雑煮 古代米・揚げ出し豆腐・中味汁 七草かゆ・沖縄風みそ汁 小豆御飯・切干大根炒め煮・ケーキセット 古代米・煮豆・鹿ムルチ
2月	節分 バレンタイン 手作りおやつ	ミニちらし寿司・田芋りんがく タマゴボーロ チョコレート・ハートプリン 三月菓子
3月	ひな祭り 誕生会 手作りおやつ	ちらし寿司・甘納豆・ゼリー 小豆御飯・チキンカツ・ケーキセット さつま芋ようかん

年間行事食 デイサービス

月	行事	行事食
4月	浜下り 手作りおやつ 誕生会	うっちん御飯・アーサ汁・三月菓子 ホットケーキ 古代米・鶏肉スープ・ケーキセット
5月	ゴーヤーの日 手作りおやつ 誕生会	ゴーヤーチャンプルー 手作り豆腐 古代米・魚ピカタ・ケーキセット
6月	手作りおやつ 父の日交流会 地バーリー 誕生会 遠遊会	ゴーヤーかき揚げ 古代米・スーチカー カレーライス・ぜんざい 古代米・中味汁・ケーキセット 豚軟骨と野菜の煮付け等
7月	七夕まつり	山菜ごはん・魚のとろろマヨ等

	手作りおやつ 誕生会 土用の丑	ヒラヤチー 三食そばろ・スパゲティー・ケーキセット うな井
8月	手作りおやつ 旧盆ウンケー 旧盆ウークイ 夏祭り 誕生会	おさつバター焼き ウンケージュージー、ソーキ汁 小豆御飯・盛り合わせ キーマーカレー・ぜんざい 豚軟骨と野菜の煮付け・ケーキセット
9月	手作りおやつ 緑樹会敬老会 誕生会	ソーメン炒め 小豆御飯・盛り合わせ・中味汁 古代米・揚げ出し豆腐・ケーキセット
10月	手作りおやつ 運動会	クレープ ゆかり御飯・豚カツ・大学芋
11月	手作りおやつ 誕生会	お好み焼き風おやき ハンダマ御飯・海鮮フライ・ケーキセット
12月	手作りおやつ 誕生会 クリスマス	ヒラヤチー ハンダマ御飯・ラフテー・ケーキセット スパゲティー・チキン唐揚げ・ケーキ
1月	年始会 七草かゆ 手作りおやつ 誕生会 旧 正	小豆御飯・盛り合わせ 七草かゆ・沖縄風みそ汁 クレープ チキン照り焼き等・ケーキセット 古代米・煮豆・鹿ムルチ
2月	手作りおやつ 誕生会 節 分 バレンタイン	もちもちドーナツ コーン御飯・テレビチの煮付け ケーキセット ミニちらし寿司・田芋りんがく タマゴボーロ チョコレート・ハートプリン
3月	ひな祭り 誕生会 手作りおやつ	ちらし寿司・甘納豆・ゼリー 魚のあんかけ・シルバーサラダ・マンゴ ケーキセット 黒糖カステラ

在宅サービス 緑樹苑デイサービスセンター 事業報告

1. 総括

今年度は地域との繋がりを広げる為、包括支援センターと連携を図り、行事等への余興ボランティアを自治会に依頼し交流を図った。

9月には機能訓練員の退職があり、10月に新規採用をすることはできたが令和2年1月に人事異動により機能訓練員不在となり個別機能訓練加算を取り下げた。また、自宅で転倒し骨折した利用者や、外出先での交通事故や心不全等で長期入院される利用者が重なった。

2. 運営状況

令和元年度の事業目標は、1日平均29人以上、月間延利用者数720人以上に対し実績1日平均26.2人、月間平均延利用者数678人となり事業目標は達成出来ていない。

新規利用者は昨年と同伴数(14名)に対し、長期入院や施設入所等でサービス終了者が17名であった。また、キャンセルの利用者が述べ1,296名(1日平均4名)でキャンセル発生率は13.7%となる。自立度が高い独居利用者の希望利用日数と家族の意向による希望利用日数との差が生じている為、迎えに行くも利用者の意向でキャンセルになる事や、長期入院者が利用予定の定員に組み込まれたことが主な要因となった。

3. 事業状況

(1) 満足度の高いサービスの提供

①月1回の部内会議、勉強会、相談員会議を実施し、業務改善点や意見交換会を行い、職員の情報共有やサービスの質の向上等に努める。

→部内会議等で利用者の課題等を提起し全職員で情報を共有。例えば口腔ケアが不十分な利用者に対して職員が声かけや最後の仕上げを支援する事で利用者の口腔内環境が改善された。

②利用者の意向に沿った活動プログラムを提供すべく、モニタリングを定期的に行うとともに、家族、ケアマネージャー等と一層の連携を図り、ニーズの達成度等を確認する。
→介護職、看護師が連絡帳に日々の記録を記載し利用者の体調管理やニーズの把握、必要時には利用者、家族、ケアマネージャーに連絡し情報共有を図った。

③食事無料を継続し、経済的負担を軽減する事で利用しやすいデイサービスに努める。
→食事を無料化にする事で利用者、家族様の経済的負担軽減を図る事が出来、利用回数を増やしたケースもあり利用しやすいデイサービスを図った。

- ④学童クラブ児童との交流を定期的に行い、世代交流による楽しみ作りに努める。
→デイサービスの誕生会や季節行事等や児童によるダンスのお披露目もあり、活発な世代交流を図ることが出来た。3月は新型コロナウイルス感染防止の為交流は出来なかった。
- ⑤個別機能訓練実施により身体機能の維持、向上を図り、能力に応じた自立した在宅生活が継続出来るようにする。
→機能訓練員によるボールを使用したリハビリ、平行棒や苑内散歩での歩行訓練を行い、下肢筋力のリハビリを中心に行う。機能訓練員が不在時には看護師によるリハビリを行い、年間を通して実施する事が出来た。
- ⑥レク活動のグループ分け、脳トレーニング、手工芸等の内容を工夫し楽しみを増やす。
→季節を感じられるような手工芸の提案や、脳トレでは、利用者の状態に応じて難易度を設け楽しみながら参加できる取組みを行った。
- ⑦手作りおやつ会に利用者も参加してもらい、食することと作る楽しみを図る。
→いつもと違うおやつを楽しみにしている利用者は多いが、参加する事に消極的な利用者も多く、声かけを行い、参加を促しているが、特定の利用者が参加している現状である。
- ⑧行事等では職員の手作りプレゼントを提供し、利用者や家族にも喜んでもらえるよう努める。
→毎月の誕生会ではデイサービスでの活動や行事等に参加した写真をラミネートしてプレゼントしている。母の日には折り紙で職員手作りのカーネーションをプレゼントし、利用者から喜ばれている。

(2) 人材育成

- ①法人内外の研修や各専門職の研修に積極的に派遣し専門職としての資質向上に努める。
→法人内外の研修に職員を派遣し、資質向上に努めた。
- ②介護実務者研修者の経費に係る助成を行い介護士福祉士の資格取得を増やす。
→介護実務者研修に参加者はなかった。

(3) 地域交流

- ①ボランティアによる利用者交流や余暇等の積極的な働きかけ・受け入れを実施し、地域との関係作りや連携を図る。
→月1回のハンドマッサージボランティアや三板クラブの継続、その他老人クラブ等に行事の参加協力依頼を行い、地域交流を図る事で利用者に喜ばれた。3月は新型コロナ

ウイルス感染予防の為受け入れは出来なかった。

②利用者の社会参加、地域交流を目的に、苑内散歩や遠遊会、ドライブ、花見等を実施し、心身機能の活性化を図る。

→浜下り、花見などのドライブや遠遊会、緑樹苑内の散歩を実施した。

4. 環境整備状況

①車両の保守管理に努め、老朽化した車両は購入を検討し安全・安心な送迎を継続する。

→老朽化した軽リフト車を廃車し、新たに軽リフト車を購入し安全・安心な送迎を行った。

②業務の効率化のため、老朽化したパソコンの買い替えを行う。

→老朽化した3台のパソコンを買い替えた。

5. リスクマネジメント

①災害時の対応マニュアルを作成する。

→防災マニュアル、防災訓練マニュアルを作成し、職員へ周知し閲覧できるようにした。

②マニュアルに沿った避難訓練等を実施する。

→総合防災訓練への参加、職員による消火栓や消火器の取り扱い訓練などを実施した。

6. 行事・活動等

(行事・イベント)

4月	ハンドマッサージボランティア 2名 (4日)	28名
	浜下り (6日)	23名
	手作りおやつ会 (10日)	26名
	カフェタイム (15日)	32名
	誕生会 (16日)	32名
	学童交流会：新一年生お披露目 6名 (16日)	32名
	三板クラブ (12日、26日)	15名
	手芸クラブ (19日、26日)	9名
5月	ハンドマッサージボランティア 2名 (2日)	28名
	ドライブ「カテナ鯉のぼり」 (6日)	11名
	母の日交流会：沖縄市日舞サークル 2名 (13日)	29名

	手作りおやつ会 (14日)	25名
	カフェタイム (15日)	28名
	誕生会 (16日)	29名
	学童交流会 ふれあい交流 (18日)	29名
6月	ハンドマッサージボランティア 3名 (6日)	名
	手作りおやつ会 (10日)	31名
	父の日祝い会: (13日)	30名
	誕生会: 結舞踊 2名 センターさわやか会 14名 (19日)	30名
	カフェタイム (15日)	27名
	学童交流会: 地バーリー 18名 (15日)	30名
	遠遊会「海中道路」(25日)	28名
	手芸クラブ (7日、15日、21日、28日)	21名
	三板クラブ (14日、28日)	15名
7月	ハンドマッサージボランティア 2名 (4日)	27名
	七夕会 (6日)	28名
	手作りおやつ会 (9日)	26名
	カフェタイム (15日)	32名
	学童交流会: ダンス披露 (26日)	26名
	手芸クラブ (5日、12日、19日、26日)	15名
	三板クラブ (12日)	6名
8月	ハンドマッサージボランティア 2名 (1日)	25名
	手作りおやつ (10日)	25名
	学童交流会: 苑内エイサー鑑賞 20名 (14日)	24名
	カフェタイム (15日)	16名
	夏まつり (19日)	29名
	誕生会: 結舞踊 3名 (20日)	26名
	手芸クラブ (2日、9日、16日、23日、30日)	12名
	三板クラブ (9日、23日)	5名
9月	ハンドマッサージボランティア 2名 (5日)	26名
	ニライ幼児舎交流 47名 (10日)	28名
	敬老会: ぶながやぐわあ 7名 (16日)	27名
	カフェタイム (17日)	27名

	誕生会：胡屋老人クラブ 5名 (24日)	26名
	手芸クラブ (6日、13日、28日)	9名
	三板クラブ (13日、27日)	13名
10月	ハンドマッサージボランティア 2名 (3日)	27名
	手作りおやつ会 (10日)	29名
	カフェタイム (14日)	32名
	運動会 (15日、16日)	50名
	誕生会：花の会「中の町自治会」 4名 (18日)	23名
	学童交流会：ハロウィーン 26名 (22日)	27名
	手芸クラブ (4日、11日、18日、25日)	11名
	三板クラブ (11日、25日)	16名
11月	ハンドマッサージボランティア 2名 (7日)	25名
	手作りおやつ会 (11日)	25名
	遠遊会：海中道路 (12日)	22名
	誕生会：シルバーアンサンブル「きづき」 5名 (15日)	25名
	カフェタイム (16日)	27名
	手芸クラブ (1日、15日、22日、29日)	11名
	三板クラブ (8日、22日)	11名
12月	ハンドマッサージボランティア 3名 (5日)	31名
	手作りおやつ会 (10日)	27名
	カフェタイム (14日)	27名
	ファミリーガーデン完成セレモニー (16日)	4名
	誕生会 (19日)	32名
	総合防災訓練：消防立会い「雨天の為、玄関先までの誘導」	24名
	クリスマス忘年会：まり子とゆかいな仲間 6名 (24日、25日)	47名
	学童交流会：ダンス披露 8名 (27日)	21名
	手芸クラブ (6日、13日、20日、27日)	9名
	三板クラブ (13日)	4名
1月	新年会：シルバーアンサンブル「きづき」 5名 (6日)	24名
	ハンドマッサージボランティア 1名 (9日)	28名
	誕生会 (11日)	25名
	カフェタイム (15日)	23名

	手作りおやつ会 (13日)	25名
	学童交流会：ダンス披露 8名 (27日)	25名
	初詣：泡瀬ビジュアル (28日)	11名
	手芸クラブ (10日、17日、18日、24日、)	11名
	三板クラブ (10日、24日)	14名
2月	節分 (3日)	22名
	ハンドマッサージボランティア 2名 (6日)	26名
	餅つき (8日)	25名
	誕生会 (18日)	26名
	手作りおやつ会、学童交流会：おかし作り 6名 (22日)	25名
	花見ドライブ：普天間川桜小路地 (24日)	20名
	手芸クラブ (7日、14日、21日、28日、)	15名
	三板クラブ (14日、28日)	15名
3月	ひなまつり会 (3日)	22名
	誕生会 (9日)	25名
	手作りおやつ会 (10日)	23名
	カフェタイム (16日)	22名
	浜下りドライブ (27日)	12名

(職員研修、勉強会等)

月	場 所	研修・勉強会名	参加人数
4月	緑樹苑デイサービス	相談員会議 (2日)	3名
	緑樹苑デイサービス	部内会議、勉強会「利用者について」 (11日)	9名
	緑樹苑会議室	主任・係長研修 (12日)	1名
5月	緑樹苑デイサービス	部内会議 (8日)	9名
	緑樹苑デイサービス	相談員会議 (15日)	6名
	緑樹苑デイサービス	中堅職員研修 (24日)	1名
6月	緑樹苑デイサービス	相談員会議 (4日)	5名
	緑樹苑デイサービス	部内会議、勉強会「安全運転に関して」 (5日)	10名
	緑樹苑会議室	高齢者虐待防止勉強会 (20日)	1名
7月	緑樹苑デイサービス	相談員会議 (1日)	4名
	緑樹苑デイサービス	部内会議、勉強会「安全運転講習、飲酒運転について」(17日)	11名
	各施設	施設間職員派遣研修	1名
8月	緑樹苑デイサービス	相談員会議 (2日)	3名

	緑樹苑デイサービス	部内会議、勉強会「研修参加について」 (6日)	9名
9月	緑樹苑デイサービス	相談員会議 (2日)	4名
	緑樹苑デイサービス	部内会議、勉強会「利用者対応について」 (4日)	9名
10月	緑樹苑デイサービス	部内会議 (1日)	10名
	緑樹苑デイサービス	相談員会議 (2日)	5名
	緑樹苑会議室	新人研修Ⅰ (22日)	1名
11月	緑樹苑デイサービス	相談員会議 (1日)	5名
	緑樹苑デイサービス	部内会議、勉強会「特定処遇加算について」 (5日)	9名
	緑樹苑会議室	中堅職員研修 (22日)	1名
	緑樹苑会議室	ステップアップ研修 (28日)	1名
	緑樹苑会議室	中堅職員研修Ⅲ (31日)	1名
12月	緑樹苑デイサービス	相談員会議 (2日)	5名
	緑樹苑デイサービス	部内会議、勉強会「安全運転管理者講習について」 (3日)	10名
1月	緑樹苑デイサービス	相談員会議 (4日)	5名
	緑樹苑デイサービス	部内会議、勉強会「認知症について」 (6日)	10名
	緑樹苑会議室	新人研修Ⅱ (17日)	1名
	緑樹苑会議室	中堅職員研修Ⅲ (31日)	1名
2月	緑樹苑デイサービス	相談員会議 (12日)	11名
	緑樹苑デイサービス	部内会議、勉強会「感染症について」 (13日)	9名
3月	緑樹苑デイサービス	部内会議、勉強会「新型コロナウイルスについて」 (2日)	8名
	緑樹苑デイサービス	相談員会議 (3日)	4名

(クラブ活動)

クラブ名	回数 (年度)	参加人数 (1回当たり)
手芸クラブ	38	3.2
三板クラブ	18	6

(その他)

	その他
4月	緑樹会全体会議 (24日) 9名
7月	総合防災訓練「消防立会い」 (26日)
8月	福祉体験講座 (7日・8日) 8名
	現場体験学習 (21日・22日) 4名

	教員免許特例法に基づく介護等体験 (14日) 1名
9月	教員免許特例法に基づく介護等体験 (11日) 1名
	5法人勉強会「褥瘡、感染予防」 (27日)
10月	沖縄市介護事業所連絡会 (29日)
	沖縄県介護保険等集団指導 (30日) 1名
11月	沖縄県介護支援専門員協会交流会 (22日)
	安全運転管理者講習 (26日)
	5法人勉強会「虐待について」 (28日)
2月	沖縄市多職種研修 (17日)

7. 利用状況について

(1) 年間実績 (利用日数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
日数	26	27	25	27	27	25	27
総合事業	56	48	59	54	54	60	70
要介護	689	713	655	668	627	577	659
延べ人数	745	761	714	722	681	637	729
稼働率	81.8	80.5	81.6	76.4	72.1	72.8	77.1
日平均	28.6	28.1	28.5	26.7	25.2	25.4	27
月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/平均	
日数	26	25	24	25	26	310	
総合事業	63	64	54	57	55	694	
要介護	621	570	529	547	582	7437	
延べ人数	684	634	583	604	637	8131/678	
稼働率	75.1	72.4	69.4	69.0	70.0	74.9	
日平均	26.3	25.3	24.2	24.2	24.5	26.2	

※稼働率は定員 35名で算出

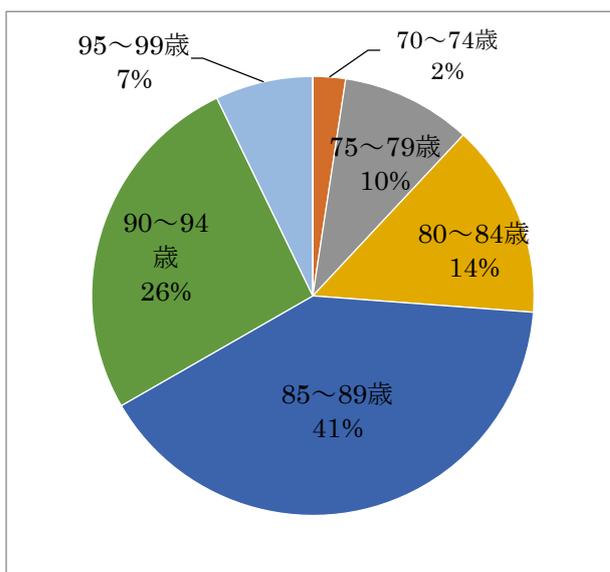
(2) 利用者の性別、要介護度別、年齢別の状況

	事業対象者		要支援1		要支援2		計		総合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
65～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～74歳	0	0	1	0	0	0	1	0	1
75～79歳	0	0	1	0	0	0	1	0	1

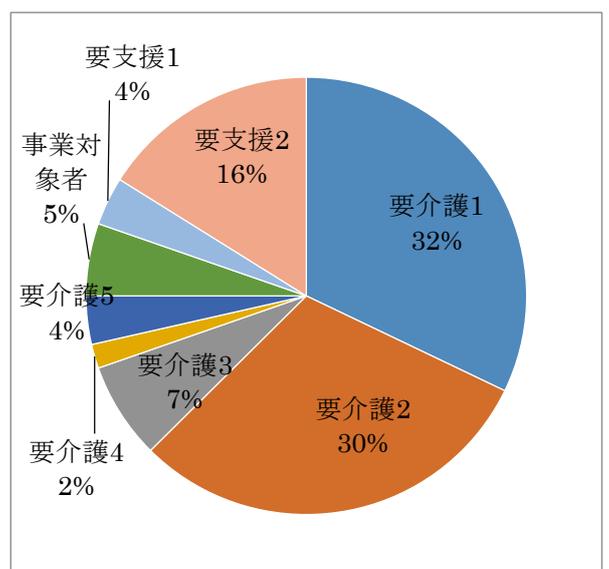
80～84 歳	0	2	0	0	0	1	0	3	3
85～89 歳	0	0	0	0	0	4	0	4	4
90～94 歳	1	0	0	0	0	4	1	4	5
95～99 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100 歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	2	2	0	0	9	3	11	14
平均年齢	91	82	74.5	0	0	88.1	80	87	85.5

	要介護 1		要介護 2		要介護 3		要介護 4		要介護 5		計		総合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
65～69 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～74 歳	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
75～79 歳	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	4	4
80～84 歳	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	4	2	6
85～89 歳	0	5	2	5	0	3	0	0	1	1	3	14	17
90～94 歳	3	5	1	2	0	0	0	0	0	0	4	7	11
95～99 歳	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	2	3
100 歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	13	5	12	0	4	1	0	1	1	12	30	42
平均年齢	88.4	81.3	85.4	85.6	0	86	98	0	85	89	89.2	85.4	87.3

年齢別状況



介護度別状況



(3) 新規・終了状況

	新規			終了				
	要支援	要介護	計	死亡	医療機 関	施設入 所	その他	計
4月	0	1	1	0	0	1	0	1
5月	0	1	1	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	2	0	0	2
7月	0	1	1	1	0	1	0	2
8月	0	2	2	0	0	1	1	2
9月	0	0	0	0	1	0	0	1
10月	0	1	1	0	0	2	0	2
11月	1	1	2	0	0	1	0	1
12月	0	1	1	0	0	1	0	1
1月	0	1	1	0	0	3	0	3
2月	0	1	1	0	1	0	0	1
3月	0	3	3	0	1	0	0	1
合計	1	13	14	1	5	10	1	17

緑樹苑居宅サービス事業所（訪問介護・障害福祉）事業報告

1. 総括

地域の多職種連携の中で、訪問介護員の役割を自覚し、利用者が在宅生活を継続出来る様、追加サービスの調整を行う事が出来た。しかし、家族の負担や本人の不安が大きく、施設入所を選択せざる得ないケースが4件あった。総合事業に関しては、体調の変動が多く、入院が長引き、そのまま入所になるケースや、亡くなられるケースが10件あった。障害福祉サービスに関しては、他訪問介護事業所の閉鎖や、利用者自身のADLの低下に伴い利用日の追加や時間数の増があった。その反面、登録ヘルパーの退職者が5名続き、新規依頼に対応することができなかった。

2. 運営状況

介護保険、総合事業共に目標の件数を前年度よりも増を目標としていたが、介護保険は前年度の10%減、総合事業は30%減となった。その理由の一つに、施設入所や入院、死亡などによりサービスが終了する利用者の数が前年度に比べ19%増えた事があげられる。

新規依頼はあるものの退職した5人の登録ヘルパーが対応していた利用者を常勤ヘルパーが対応することになり、新規を受けることができずに月4件断ることになった。その結果、事業収益は10%減となった。

障害福祉サービスの目標月平均人数は22名としていたが、月平均利用者数17名となった。既存利用者のサービス提供時間数の増加があり、常勤職員によるサービス提供スケジュールの調整を行ったが、同時期に登録ヘルパーの退職等があり、スケジュール調整が困難な利用者を他事業所へ2件依頼する事となった。件数は減となったが、時間数が増えたことで、事業収益は3%増となった。

3. 事業状況

(1) サービスの質の向上

①サービス提供責任者は、訪問時の「気づき」をケアマネジャー及び多職種へ的確に伝え、情報の共有を密にする事により、質の高いサービスを提供出来る様にする。

→利用者の身体状況の変化に気づき、サービス内容の変更などの提案を行うなどし、利用者の身体的低下に対応する事が出来た。

②毎月1回ヘルパー定例会を継続実施するとともに、知識技能を有し、更に、訪問介護員個別の研修計画を立て、レベルアップを行い、困難ケースの依頼にも柔軟に対応できる様に努める。

→毎月1回の定例会に外部講師を招いて実技指導の勉強会を行ったほか、他事業所企画の研修に参加したことで、知識技能のスキルアップが図られ、職員の意欲向上に繋がった。又、個別の研修計画を立てる事で、個々の課題に取り組むことが出来た。

③支援費利用者の多様なニーズに応えられるよう、人材の確保に努め、支援費の新規利用者増を目指す。

→人材確保が出来なかったほか、登録ヘルパーの退職も重なり、新規相談依頼はあったが、対応する事が出来なかった。

(2) 人材育成・スキルの向上

①定期的な部内会議を行い、「報告・連絡・相談」の重要性や理解を深める。

→スケジュール調整が出来ず、定期的に部内会議を継続する事は出来なかった。しかし、携帯電話のメールを利用する事で、報告、連絡を共有する事ができた。

②サービスをより良くすることで、利用者の満足度を高める事により、介護職員の仕事への満足感とやりがいへと繋げる。

→利用者ニーズの把握と知識技能の向上等でより良いサービスへと繋げ、利用者の満足を得る事が出来た。

③サービス提供責任者は、多種多様な業務をこなす中で効率的に業務がこなせる様に日々検討・改善に努める。

→現場のヘルパーへの連絡事項を的確に行い、現場でヘルパーが戸惑う事無く業務を行えた事で、同行訪問を減らす事が出来た。現場のヘルパーに電話で緊急時の対応の指示をしたことで緊急時も速やかな対応が出来た。

④医療ニーズの高い新規利用者の獲得を図るため、痰吸引の研修に参加し、来年度(2020年度)に「喀痰吸引事業者」の申請に向けて準備を進める。

→研修に参加する準備が整わず、来年度に持ち越しとなった。

(3) 緊急時マニュアルの見直し

①ヘルパーが利用者宅訪問時に想定される緊急時のマニュアルを見直し、更に具体的に作成する。

→ターミナルケアの利用者の緊急時のマニュアルを具体的に作成し、現場のヘルパーが戸惑う事の無いように整える事ができた。

②事故後、再発防止の為にケース会議を事業所全体で行い、徹底指導を行う。

→今年度3件の物損事故(いずれも利用者の誤解による)発生に対し、誤解を招いた検証や再発防止、今後の支援方法等についてケース会議を実施した。

③利用者個別の、緊急連絡網を作成し、確実に家族や関係者に、連絡ができる体制を作る。

→緊急連絡先の再度確認を行い、2人以上の緊急連絡先を記入し、作成し直す作業を行った。

(4) 環境整備

①休憩室を確保し業務時間と休憩時間と区別をつける。

→休憩室を確保する事ができ、業務時間との区別をつける事が出来た。

②連絡体制の強化と業務の効率化を図る為、サービス提供責任者が業務で使用する携帯電話を高機能な端末へと変更を検討する。

→携帯電話をスマートフォンへと変更し、連絡体制の改善を行う事が出来た。しかし、機能を生かした業務の効率化を図るまでには至っていない。

5. 行事・活動等

(職員研修、勉強会等)

月	場 所	研修・勉強会名	参加人数
4月	デイサービス	課内勉強会 「褥瘡について」 実技指導 「ポジショニング方法」	23名
5月	会議室	課内勉強会 「食中毒について」 実技指導 「記録の書き方・提供表の見方」	23名
6月	会議室	課内勉強会 「リハビリ・筋肉について」 実技指導 「筋肉体操」	23名
7月	ちゅうざん病院	課内勉強会 「摂食嚥下機能のメカニズム」	23名
8月	デイサービス	課内勉強会 「オムツの当て方について」 実技指導 「オムツの当て方実技」	23名
9月	デイサービス	課内勉強会 「褥瘡・感染予防」 実技指導 「手洗いに方法」	23名
10月	会議室	課内勉強会 「認知症についてのケア方法」	22名
11月	会議室	課内勉強会 「個人情報保護倫理・法令遵守について」 実技指導 「接遇マナーの実践」	22名
12月	会議室	課内勉強会 「ヒヤリハットについて」 実技指導 「介護業務自己評価」	21名
1月	会議室	課内勉強会 「虐待防止について」 実技指導 「うがいができない方の口腔ケア方法」	21名
2月	会議室	課内勉強会 「蜂窩織炎について」 実技指導 「マスクの正しい付け方」	21名
3月	学童教室	課内勉強会 「老老介護について」 実技指導 「自己覚知について」	20名

6. 利用状況について

(1) 年間実績 (利用日数)

	介護保険				障害福祉サービス			
	訪問介護		総合事業サービス		居宅サービス		移動支援	
	利用者数	提供回数	利用者数	提供回数	利用者数	提供時間	利用者数	提供回数
4月	37	482	58	398	19	345	2	4
5月	42	512	57	306	18	367	2	6
6月	41	543	56	298	19	351	3	8
7月	38	551	57	305	19	378	3	8
8月	39	547	53	281	19	342	1	4
9月	37	506	53	253	18	317	1	4
10月	37	526	52	271	16	359	2	6
11月	37	489	50	237	15	334	1	4
12月	37	498	48	265	16	341	1	4
1月	37	472	46	240	16	340	2	6
2月	38	412	44	230	16	322	2	6
3月	33	439	42	244	15	321	3	6
合計	458	5977	616	3328	206	4117	23	66
平均	38	498	51	277	17	343	2	6

(2) 利用者の性別、要介護度別、年齢別の状況

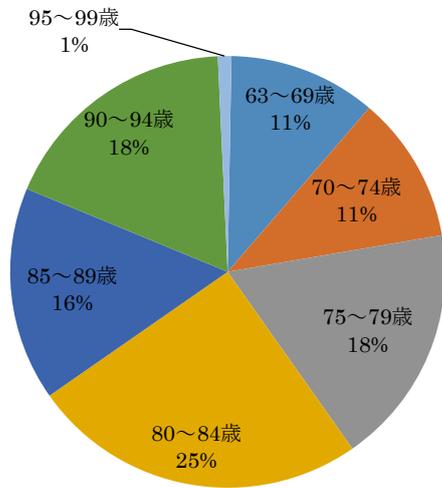
総合事業

	事業対象者		要支援1		要支援2		計		総合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
63～69歳	1	1	1	1	0	1	2	3	5
70～74歳	1	1	0	1	0	3	1	5	6
75～79歳	1	1	2	1	2	1	5	3	8
80～84歳	1	2	3	2	0	2	4	6	10
85～89歳	0	0	0	2	1	4	1	6	7
90～94歳	1	0	0	1	0	5	1	6	7
95～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	5	6	8	3	16	14	29	43
平均年齢	78	76	79	80	80	83	79	81	80

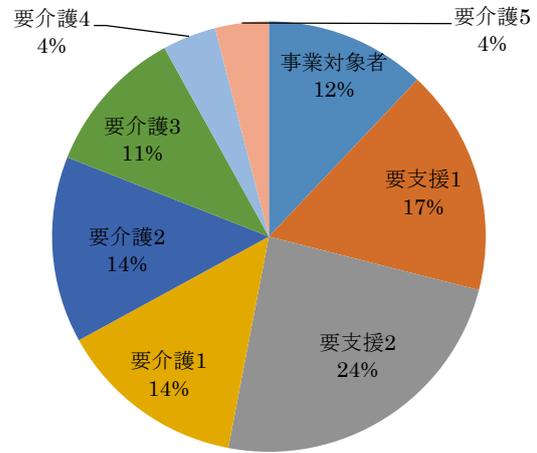
要介護者

	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		計		総合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
55～64歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65～69歳	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4	4
70～74歳	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3	3
75～79歳	0	0	0	4	0	1	0	0	0	1	0	6	6
80～84歳	1	3	1	1	1	1	0	1	0	1	3	7	10
85～89歳	0	2	0	2	1	1	0	0	0	0	1	5	6
90～94歳	1	2	1	1	0	1	0	0	1	0	3	4	7
95～99歳	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	9	2	9	2	7	0	3	1	2	7	30	37
平均年齢	87	81	86	83	84	79	0	72	94	81	87	80	82

年齢別状況



介護度別状況



(3) 新規・終了状況

介護保険

	新規			終了				
	総合事業	要介護	計	死亡	医療機関	施設入所	その他	計
4月	1	0	1	0	0	0	1	1
5月	2	2	4	2	0	0	2	4
6月	0	0	0	1	0	0	1	2
7月	0	1	1	1	0	0	1	2
8月	0	0	0	1	2	1	1	5
9月	0	0	0	0	0	1	0	1
10月	0	0	0	1	1	0	1	3
11月	0	2	2	0	3	0	2	5
12月	0	0	0	0	1	0	0	1
1月	0	1	1	1	2	1	1	4
2月	0	1	1	1	0	1	2	4
3月	1	1	2	0	0	0	0	0
合計	4	8	12	8	9	4	12	33

障害福祉サービス

	新規		終了				
	支援費	計	死亡	医療機 関	施設入 所	その他	計
4月	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	2	2
10月	0	0	1	0	0	0	1
11月	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	1	0	0	1
3月	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	1	1	0	2	4

緑樹苑指定居宅介護支援事業所 事業報告

1. 総括

令和元年度は新規プラン獲得に伴い、介護支援専門員1名を採用した。事業所内で定期勉強会や事例検討会の開催、各介護支援専門員の経験に応じた法人内外の研修に派遣し、専門職としての質の向上に取り組み人材育成ができた。経験5年以上の介護支援専門員1名を主任介護支援専門員研修に派遣し資格を取得したことで、5名の介護支援専門員のうち3名が主任介護支援専門員となった。介護支援専門員全国大会に介護支援専門員1名を派遣し2021年度の法改正とケアプランのIT化について学んだ。

2. 運営状況

令和元年度は、月平均プラン件数が150件（介護120件、予防・総合30件）の目標を立て、病院相談員や関係機関、各地域型包括支援センター等への営業活動を行っていたが、1月末に介護支援専門員1名の退職があり、他法人の居宅介護支援事業所にプランを依頼したことや新規プランを受けることができなかったことから月平均プラン件数が130件（介護112件、予防・総合18件）で目標を達成することができなかった。

3. 事業状況

(1) サービスの質の向上

- ①利用者の個々のニーズに的確に対応するとともに、自立支援の理念を基本に計画書を作成する
→個々のニーズに対応すると共に自立した生活を営む事を目標にプラン作成を行った。
- ②24時間連絡が取れる体制を確保し、必要に応じて相談対応ができる体制を継続する。
→各介護支援専門員が24時間携帯電話を所持し年10回、緊急時の相談対応を行った。
- ③部署内（週1回以上）や他法人の居宅介護支援事業所との事例検討会（年2回以上）を開催し、多様なケースにも対応できるようにする。
→部署内（週1回）や他法人居宅介護支援事業所との共同事例検討会（年2回）開催し多様なケースの意見交換や相互に情報交換を行うとともに、問題解決策を学ぶことができた。
- ④介護予防支援や介護予防ケアマネジメント等の対象者の生活課題が解決できるよう地域包括支援センターと連携を図り支援に努める
→沖縄市自立支援地域ケア会議に事例提供し専門職からの指導・助言を受け連携・協働を図り利用者の能力に応じた日常生活が営むことができるように支援することができた。
- ⑤主任介護支援専門員は、地域ケア会議にアドバイザーとして参加する。又、地域包括支援センターと連携を図りつつ地域の構築に努める。
→主任介護支援専門員は部署内外の介護支援専門員の困難事例の解決に向けた地域ケア

会議にアドバイザーとして参加し地域型包括支援センター、自治会、民生委員、地域住民との連携を図ることができた。

(2) 人材の質の向上

①介護支援専門員の経験値に応じた、研修計画書を策定し、段階的にスキルアップを図る。
→各介護支援専門員へ経験値に見合った研修への派遣や主任介護支援専門員研修に1名派遣し資格を取得した。

②新規採用の介護支援専門員に対し、初任者スキルアップ研修等に派遣し、介護支援専門員としての知識の向上を図る。

→新人の介護支援専門員に対し、沖縄市主催ケアマネジメント学習会、沖縄県介護支援専門員スキルアップ研修、沖縄県介護支援専門員協会等の研修等に派遣し、知識向上に努めた。

③沖縄県介護支援専門員協会や沖縄支部の研修へ参加し、情報や専門的知識を得る。

→沖縄県介護支援専門員協会、沖縄市支部の研修へ派遣し情報や専門的知識を得た。

④基幹・地域型包括支援センターが開催する「自立支援会議」へ参加し自立に向けた支援方法等を学ぶ。

→9月に開催した自立支援会議に事例発表し利用者の課題解決や利用者のQOLの向上の実現に向けて専門職からの助言を受け課題解決等の支援方法を学んだ。

(3) 環境整備

①職員の増員に伴い、パソコンを購入する。

→職員1名増員に伴いパソコンを購入した。

4. 行事・活動等

(職員研修)

月	場 所・日	研 修 名	参加人数
4月	緑樹苑会議室(12日)	緑樹会 係長・主任等研修	1人
5月	沖縄市福祉文化プラザ(19日)	2019年 沖縄県介護支援専門員協会 沖縄市支部 通常総会	5人
	沖縄市役所(16日)	成年後見制度学習会	3人
	緑樹苑会議室(24日)	R元年度 緑樹会 中堅職員研修	1人
	沖縄市役所(29日)	R元年度 第1回 自立支援地域ケア会議	2人
6月	かでな文化センター(1日)	R元年度 沖縄県介護支援専門員協会 通常総会	4人
	緑樹苑会議室(3日)	2019年度 緑樹会 管理者研修会	1人
	沖縄市中央公民館(25日)	R元年度 第1回 沖縄市ケアマネジメント研修会	2人

6月	緑樹苑会議室 (20日)	R元年度 緑樹会 虐待防止研修	1人
7月	沖縄市福祉文化プラザ (19)	R元年度 第1回 沖縄県介護支援専門員 沖縄市支部 定期研修会	5人
	諸見里自治会 (31日)	地域型包括支援センター西部南 地域ケア 会議 (事例発表・アドバイザー)	2人
8月	沖縄市中央公民館 (13日)	R元年度 第2回 沖縄市ケアマネジメント研 修会	2人
	緑樹苑会議室 (16日)	R元年度 ステップアップ研修 I	1人
	徳島市あわぎんホール (22日)	第13回 一般社団法人 日本介護支援専門 員協会 全国大会in四国 (徳島県)	1人
9月	沖縄市役所 (18日)	R元年度 第3回 自立支援地域ケア会議 (事例発表)	5人
	沖縄市産業交流センター (20日)	R元年度 第2回 沖縄県介護支援専門員協 会 沖縄市支部 定例研修会	3人
	沖縄市中央公民館 (24日)	R元年度 介護予防支援・介護予防ケアマネ ジメント委託事業説明会	3人
10月	沖縄市中央公民館 (8日)	R元年度 第3回 沖縄市ケアマネジメント 研修会	1人
	沖縄県総合福祉センター (16~19日)	R元年度 沖縄県主任介護支援専門員研修	1人
	緑樹苑会議室 (22日)	R元年度 緑樹会 新人研修 I	1人
11月	沖縄県総合福祉センター (13~16日)	R元年度 沖縄県主任介護支援専門員研修	1人
12月	沖縄県総合福祉センター (6日)	R元年度 沖縄県介護支援専門員スキルア ップ研修 初任者・管理者向け	2人
	沖縄県総合福祉センター (6日)	R元年度 沖縄県介護支援専門員実務研修 実習指導等説明会	1人
	沖縄県総合福祉センター (9~12日)	R元年度 沖縄県主任介護支援専門員研修	1人
1月	沖縄市男女共同参画センター (24日)	認知症介護におけるストレスとの付き合い 方、怒りとの向き合い方について	2人
	緑樹苑会議室 (24日)	R元年度 緑樹会 新人職員フォローアッ プ 研修 I	1人
	緑樹苑会議室 (31日)	R元年度 緑樹会 中堅職員研修Ⅲ	1人
2月	沖縄市福祉文化プラザ (13日)	R元年度 第3回 沖縄県介護支援専門員協 会 沖縄市支部 定例研修会	4人
	沖縄市産業交流センター (18日)	R元年度 沖縄市在宅医療・介護連携推進事 業 第2回 多職連携研修会	2人
	沖縄市中央公民館 (25)	R元年度 第5回 沖縄市ケアマネジメント 研修会	2人

(定期部署内勉強会)

月	日	勉強会名	参加人数
4月	2日、9日、16日、23日、	各種加算内容共有	5人
	30日	ケアプラン作成演習	5人

5月	7日、14日、21日、28日	アセスメント・支援経過録・計画書記載方法	5人
6月	3日、11日、17日、25日	モニタリング・会議録記載方法・事例検討会	5人
7月	2日、8日、16日	事例検討会	5人
	22日、30日	事例検討会・ケアプラン作成演習	5人
8月	6日、13日、20日、27日	事例検討会	5人
9月	4日、10日、17日	事例検討会	5人
	24日	10月～介護保険報酬改定内容共有	5人
10月	7日、15日、22日	事例検討会	5人
	29日	沖縄市介護保険課集団指導内容共有	5人
11月	4日	2021年度 介護保険制度改正内容について	5人
	12日、19日、26日	事例検討会	5人
12月	3日、10日	各種加算内容・運営基準減算内容共有	5人
	17日、24日、30日	事例検討会	5人
1月	6日、14日、20日、28日	事例検討会・実地指導内容共有	5人
2月	4日	新型コロナウイルスについて・事例紹介	4人
	11日、17日、25日	事例検討会	4人
3月	3日、9日	新型コロナウイルス感染症に係る介護保険最新情報 内容共有	4人
	16日	新型コロナウイルス感染症に係る運営基準・臨時的取 り扱い内容共有	4人
	24日、31日	事例検討会	4人

(共同事例検討会) 他法人居宅介護支援事業所との定期事例検討会

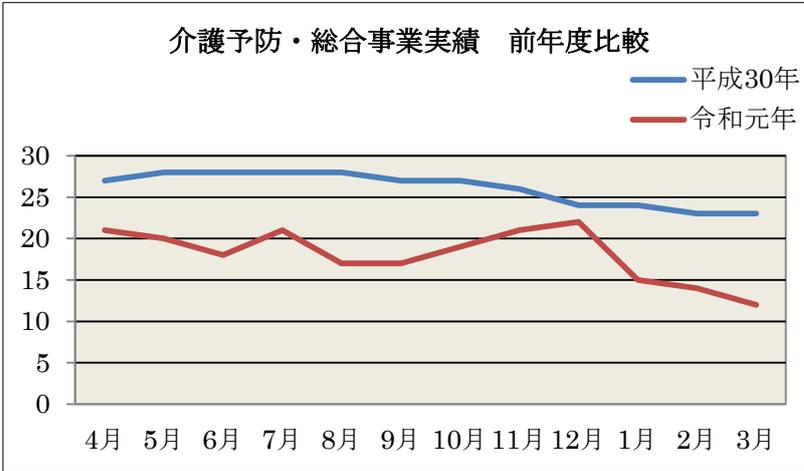
月	場 所・日	勉 強 会 名	参加人数
7月	緑樹苑会議室 (9日)	事例検討会	5人
12月	ソフィアクリニック会議室 (10日)	事例検討会	4人

5. 利用状況について

(1) 年間実績 (介護予防・総合事業)

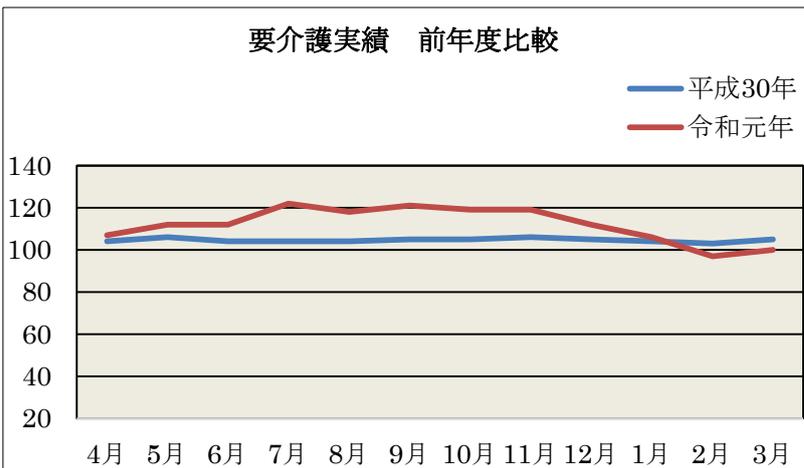
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
介護予防	10人	9人	8人	11人	9人	9人	9人
総合事業	11人	11人	10人	10人	8人	8人	10人
実績人数	21人	20人	18人	21人	17人	17人	19人
月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
介護予防	12人	14人	8人	8人	8人	115人	

総合事業	9人	8人	7人	6人	4人	102人
実績人数	21人	22人	15人	14人	12人	217人



(2) 年間実績 (要介護度 1～5)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用者数	120人	127人	125人	130人	133人	129人	128人
実績人数	107人	112人	112人	122人	118人	121人	119人
月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者数	124人	120人	106人	104人	108人	1,454人	
実績人数	119人	112人	106人	97人	100人	1,345人	



(3) 利用者の性別、要介護度別、年齢別の状況

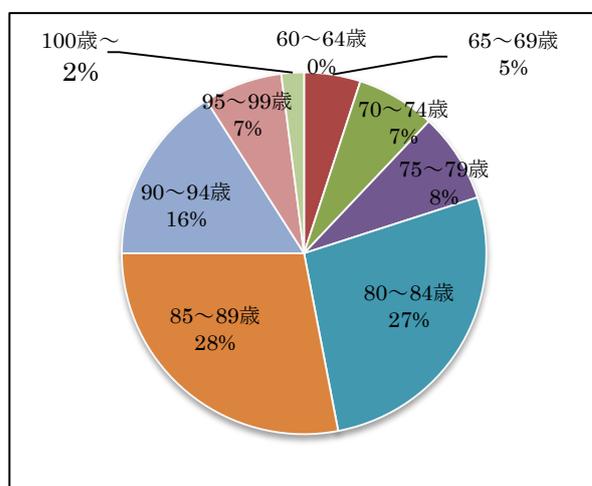
(要支援1・2 事業対象者) 3月現在

年齢	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		計		総合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
60～64歳	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
65～69歳	2人	0人	1人	0人	0人	0人	2人	0人	0人	0人	5人	0人	5人
70～74歳	0人	2人	1人	0人	1人	1人	0人	0人	0人	2人	2人	5人	7人
75～79歳	0人	1人	1人	2人	0人	2人	1人	0人	1人	0人	3人	5人	8人
80～84歳	5人	5人	1人	6人	3人	1人	2人	1人	1人	2人	12人	15人	27人
85～89歳	1人	7人	3人	6人	3人	4人	1人	2人	0人	1人	8人	20人	28人
90～94歳	3人	4人	0人	4人	1人	3人	0人	1人	0人	0人	4人	12人	16人
95～99歳	0人	0人	0人	0人	1人	2人	0人	3人	0人	1人	1人	6人	7人
100歳以上	0人	1人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	2人	2人
計	11人	20人	7人	18人	9人	14人	6人	7人	2人	6人	35人	65人	100人
平均年齢	82.7	85.5	80	84.8	84.3	88	77.3	91.5	79.5	81.8	79.1	84.9	82.9

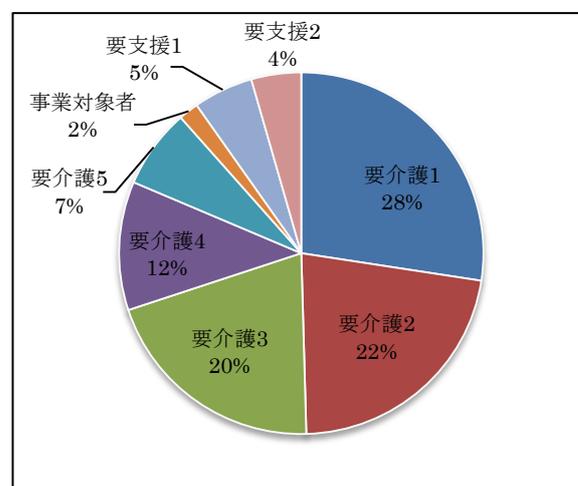
(要介護1～5) 3月現在

年齢	要支援1		要支援2		事業対象者		計		総合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
65～69歳	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	1人	1人
70～74歳	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
75～79歳	1人	1人	0人	0人	1人	0人	2人	1人	3人
80～84歳	1人	0人	1人	1人	0人	0人	2人	1人	3人
85～89歳	1人	1人	0人	2人	0人	1人	1人	4人	5人
90～94歳	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
95～99歳	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
100歳以上	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
計	3人	2人	1人	4人	1人	1人	5人	7人	12人

年齢別状況



介護度別状況



沖縄市地域包括支援センター西部北 事業報告

1. 総括

沖縄市から委託を受け、沖縄市地域包括支援センター西部北の事業運営を行った。西部北圏域（八重島、センター、胡屋、園田、中の町）の総人口は15,314人、高齢者数4,237人、高齢化率27,66%。高齢化率、後期高齢化率、ひとり暮らし高齢者の割合、要介護認定率が、他圏域と比較して高い圏域となっている。

令和元年度は包括的支援事業（総合相談・地域包括支援ネットワーク構築・実態把握等）の周知として、ぬちぐすい新聞の発送や緑樹会HPの掲載等を活用しながら地域住民や企業、関係団体の定例会にて周知活動を行った。今年度は認知症総合支援事業として、認知症地域推進員を配置し、認知症地域支援・ケア向上の支援に努めた。認知症に関する普及啓発活動として、認知症サポーター養成講座と認知症カフェの開催（沖縄市主催）を行った。在宅福祉サービス事業及び生活支援に係るサービス事業は、介護予防等把握業務の実態把握調査や地域住民、民生委員、介護支援専門員、病院相談員、基幹型包括の情報から在宅福祉サービス、生活支援サービスの利用対象者を訪問し利用申請（新規や継続）を行った。随時、在宅福祉サービス調整会議（三職種、実態把握等業務担当）を開催し、高齢者の地域における自立した日常生活支援（見守り等、安否確認等）に移行支援を行った。地域ケア会議の内「自立支援地域会議」「個別地域ケア会議」は適宜実施したが、3月に開催予定の「地域別地域ケア会議」は沖縄市から自粛要請による新型コロナウイルス感染予防対策により延期となった。

2. 運営状況

令和元年度におけるプラン件数は包括西部北の件数は1,702件、委託先の件数は575件となった。当初の目標2,160件と、見込んだ計画との数値は458件減少の差となった。前年度と比較すると包括西部北の件数は47件増え、委託先の件数は221件減少となった。

3. 事業状況

- (1) 定期的で開催している自治会の福祉連絡会やぬちぐすい講座と協議体に参加し地域から情報を得やすい関係性を継続構築し、地域の課題ニーズを把握できるように努める。
⇒ 各自治会の定例会参加、ぬちぐすい講座を5回開催した。
- (2) 生活支援体制整備事業の周知活動に努める。公民館やサロン、地域住民からも聞き取りを行いながら介護予防が実践できるよう、通いの場作りと推進に努める。
⇒ 地域住民に圏内のサロン（ゆんたくまちや、パンダクラブ、FMコザ等）の紹介を行った。
- (3) 法人在宅サービス、施設サービス部署との連携・ネットワークの形成を図り地域から

信頼される介護ケア・サービスを展開する。

⇒ デイサービス、特養ホームに地域住民のサークルボランティアの紹介を行った。

(4) 認知症の人やその家族等の相談支援や認知症に関する普及啓発活動の推進に努める。

⇒ 認知症支援は認知症への理解を深めるための普及・啓発として、認知症サポーター養成講座を郵便局、小学校、法人事業所で開催した。

4. 業務内容

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

介護サービスや医療サービス等を適切に利用できるように、介護事業者、医療機関、民生児童委員協議会、社会福祉協議会等との関係機関と連携し高齢者支援のためにネットワーク構築を図った。

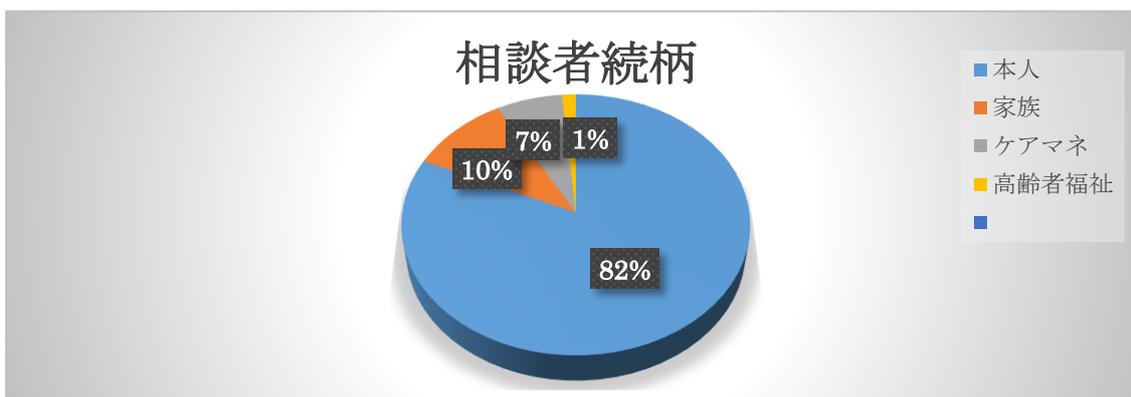
②介護予防等把握

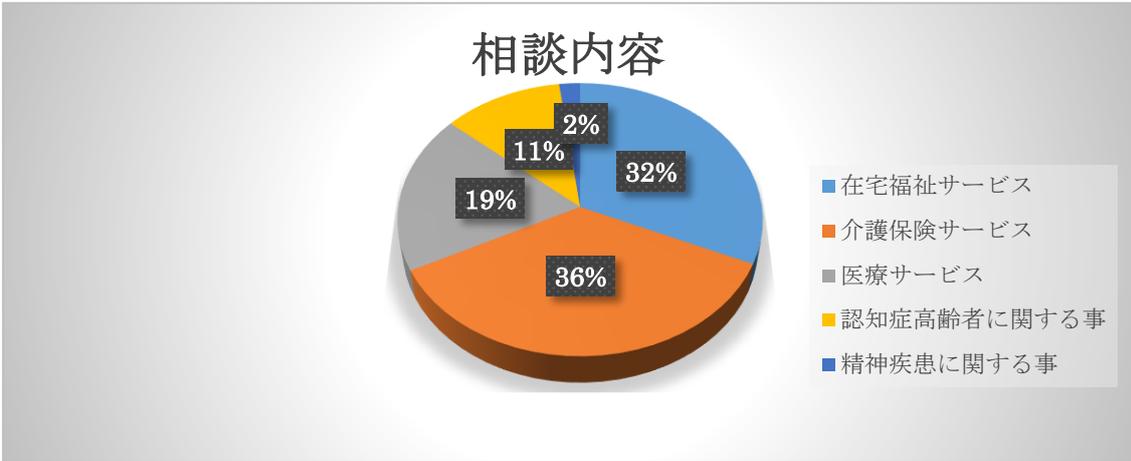
実態把握	延べ件数	実人数
平成30年度実績	873人	724人
令和元年度実績	726人	439人

独居世帯、高齢者同居世帯を訪問した。訪問時にチェックリスト、実態把握表（Ⅰ，Ⅱ）のセットを1カウントで計上している。チェックリストで問題ある方は、三職種会議で図り支援した。不在の場合は不在票を配布した。実態把握の啓発活動の一環として生活支援コーディネートと連携しながら、地域のサロン等の活動の場や会議に参加し顔の見える関係作りを行った。収集した情報等から、引きこもり等の何らかの支援を要する高齢者を把握、自宅訪問し介護予防活動につなげた。

③総合相談支援

総合相談件数	実人数	延べ件数
平成30年度実績	1,926人	4,561件
令和元年度実績	1,762人	4,818件





相談実績は（相談者続柄別）：本人（3,467件）が最も多く、家族（429件）、介護支援専門員（284件）が多かった。（相談内容別）：介護保険サービスに関する事、在宅福祉サービスに関する事が多く、次いで認知症の高齢者に関する事、医療機関に関する事、精神疾患に関する事の相談が多かった。地域からの相談を円滑に受け入れ適切な制度、関係サービスにつなぐとともに継続的な相談支援を行った。

（2）権利擁護業務

①成年後見制度の利用促進、②高齢者虐待への対応、③消費者被害の防止

高齢者虐待の防止及び対応

虐待認定	虐待認定に至らなかった	合計相談件数
2	1	11

老人福祉施設等への措置の支援

老人福祉施設等への措置の支援	支援件数
1	1

相談・通報者の内訳：医療従事者2件、介護支援専門員2件、介護サービス事業所1件、親族、行政職員となっている。被虐待者との続柄：被虐待者との関係では、息子が1件、元妻が1件となっている。虐待の対応策：虐待者の保護として虐待者からの分離を行った事例が1件、虐待判断時点で入所中の事例が1件となっている。権利擁護業務の内、①成年後見制度利用市長申立が1件となっている。②虐待の対応においては早期発見・早期対応とし「高齢者虐待対応のマニュアル」に基づき速やかに状況を把握し関係機関と連携を図り対応した。③消費者被害の防止・消費者トラブルの情報発信は各自治会（福祉連絡会）に参加し意識啓発を行った。

（3）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

基幹型包括支援センター、各地域型包括支援センターと携協力し、介護支援専門員の資質

向上を図るための研修会の企画等を実施した。又、介護支援専門員のニーズ課題に合わせ自立支援会議を西部北主催と幹型主催で開催した。個別地域ケア会議については適開催した。介護支援専門員からの相談（来所・電話）に対しアドバイスや地域資源の紹介やケースの相談、必要時には同行訪問を行い、介護支援専門員が抱える課題等の支援を行った。地域における介護支援専門員のネットワーク形成業務として沖縄県介護支援専門員沖縄市支部や沖縄市介護支援専門員代表者委員会等を活用しネットワーク構築を図った。

自立支援会議の回数

西部北主催	基幹型主催
3	3

(4) 在宅医療・介護連携推進事業に関する協力業務

沖縄市在宅医療、介護連携推進会議に参加した。多職種研修会にファシリテーターとして参加し地域住民への普及啓発として「市民公開講座」を開催した。医療機関と効率的に支援を行うにあたり、中部圏域内の医療連携室の相談員との連携会議を定期的に開催し情報共有や意見交換を行った。

(5) 生活支援体制整備事業に関する協力業務

ぬちぐすい講座、出前講座を開催し、生活支援、介護予防を住民主体で取り組むための意識啓発に努めた。自治会の福祉連絡会、地域の集いの場にて地域住民と情報交換を行い、必要時「第2層協議体」を開催し、課題解決に向けて住民や関係者と協議を行った。

(6) 地域ケア会議推進事業

自立支援地域ケア会議を開催した。高齢者の自立支援の推進を目的とし、介護支援専門員、三職種、リハビリ専門職等により介護予防サービス計画書を通して、自立支援方法の検討を行った。個別地域ケア会議を開催した。総合相談、介護予防ケアマネジメント、介護支援専門員からの相談、認知症高齢者に関する相談、生活が困窮している状態の家族支援等に対し個別事例の解決を行った。

地域ケア会議の回数

自立支援地域ケア会議	個別地域ケア会議
3	1

(7) 介護予防ケアマネジメント業務

総合事業サービス調整会議を年間79件行い、自立支援に資したサービス調整を行っている。ケアマネジメントAは行っているが、令和元年度はケアマネジメントCの対象者はいなかった。介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントの業務一部委託については、新規の利用者を優先的に調整した。ケアプラン確認の中でサービスの必要性やインフォーマルサー

ビス等の検討等を含め確認を行った。

(8) 一般介護予防業務

一般高齢者に対する支援は、介護予防として住み慣れた地域で元気でいきいきと暮らせるために沖縄市の介護予防教室（高齢者パワーアップ教室、高齢者元気教室）や自治会のいきいき百歳体操に参加を推奨した。

(9) 指定介護予防支援事業

プラン件数	ケース件数	1人あたり平均
平成30年度実績	1,655人 (予防702+総合933)	34人 (予防13+総合21)
令和元年度実績	1,702人 (予防1,313+総合389)	43人 (予防33+総合10)

地域包括西部北（プラン件数）

	初回	継続	合計
事業対象者	14	375	389
要支援1	20	520	447
要支援2	18	761	779
計	47	1,655	1,702

委託先（プラン件数）

	初回	継続	合計
事業対象者	1	58	59
要支援1	7	165	172
要支援2	12	332	344
計	20	555	575

令和元年度は新規契約者89人。転ばん教室（自立に向けて）は15人。要介護が見込まれるケースや区分変更のケースについては委託事業所での調整を行った。委託先プラン件数が減る傾向が継続して見られる。西部北プラン件数・実績（前年度比較で47件+）であるが、実績に移行できない内容として、サービス利用なし・体調不良・入院中・区返変更・要介護移行・死亡の内訳となる。

(10) 認知症地域支援・ケア向上事業

今年度から各地域包括支援センターに認知症地域支援員が1名配置となる。認知症の人

とその家族の状況に応じた医療や介護等のサービスにつなげられるように関係機関との連携を行った。認知症の相談支援や支援体制の構築として、認知症の人、その家族等への相談を実施した。沖縄市（実施主体）から派遣される専門職（精神保健福祉士、看護師等）と連携し対象宅へ訪問し、専門外来受診または介護保険サービスにつなげる等の支援を行った。医師、精神保健福祉士、看護師、基幹型包括職員、担当地区型包括職員で、報告・相談・今後の対応を検討しながら支援を行った。

その他・高齢者在宅福祉サービス

高齢者通院支援サービス事業	10 件
緊急通報システム設置事業	4 件
高齢者見守り体制整備事業（緊急医療情報キット配布）	13 件
食の自立支援事業（配食サービス）	11 件
ゆんたくコール	1 件

みどり学童クラブ 事業報告

1. 総括

沖縄市放課後児童クラブ運営ガイドラインに基づき運営を行った。令和元年度の児童数は43名でスタートし、3月時点で40名であった。発達段階の違う児童が同年齢や異年齢との交流や日々の遊び・勉強・毎週土曜日や夏休みの園外活動、年間行事等、様々な活動が展開できる環境を提供し健全育成に努めた。

法人内の施設利用者と季節行事等を通して交流を行ったことや、デイサービス帰宅時には利用者一人ひとりを玄関で見送りをする等、日常的な交流が実施できた。しかし3月は新型コロナウイルス感染防止の為に交流を実施することができなかった。

また、学校行事の際は支援員や補助員が学校を訪問し児童の学校での様子の把握に努めたことや、学校長や教頭、担任と定期的な面談や必要時は学校主催の会議に参加し情報共有を行うことで、学校と学童クラブとの連携を強化することができた。

2. 運営状況

令和元年度は年間を通し、定員40名以上の利用を目標とし、実績は平均人数42名となり、基本補助金の減算はなく維持できた。学校との連携の強化により「放課後児童支援員等処遇改善等事業」の加算取得ができた。年間行事については、保護者に直接連絡し周知したことで参加者が多く、年間の活動を通し、怪我や事故等もなく充実した計画性のある運営ができた。

3. 事業状況

(1) 健全育成

①児童がすすんで通い続けられるような明るく楽しい雰囲気作りや、屋内外の活動を展開し発達段階を踏まえながら児童の成長を支援していく。

→宿題指導、生活指導、日々の遊びや毎週土曜日は園外に出掛けることで屋内外の活動を展開し健全育成に努めた。

②高齢者施設と併設をしている特色を活かし、行事だけでなく日常的に高齢者と児童がふれあう交流の場を多く持つ。

→主にデイサービス利用者との交流を行った。ていんさぐぬ花の5周年記念への参加など法人内施設とハロウィンや地バーリー、苑内エイサー等を通し交流を実施した。

③指導員会議・申し送り等をより充実させ、情報共有やチームワークの強化を行い、児童一人ひとりの指導が細やかに行えるように努める。特別な支援を必要とする児童には個々の状況に十分に配慮した支援に努める。

→毎日の申し送りや部署内会議で情報の共有を行ったことで職員が同じ意識を持ち児童の指導が細やかに行えた。

- ④特別な支援を必要とする児童には個々の状況に十分に配慮した支援に努める。
→子育てや家庭等の個別相談もあり、必要時は個別ケア会議を開催し情報の共有や相談対応について検討をした。
- ⑤児童が野菜の植え付けから収穫・調理まで参加し、食育の関心を高める。
→収穫したじゃがいもの皮むきや野菜を切る作業から児童が参加し、カレーパーティーを開催した。
- ⑥地域包括支援センターと連携し、児童向けの高齢者に関する講座等を開催し、児童の頃から高齢者に関する理解を育む。
→包括支援センターによる高齢者に関するクイズや紙芝居を活用した講座を開催、高齢者に関する関心や理解を深めた。
- ⑦防犯・防災の等のマニュアル作成、訓練を実施しリスクマネジメントを強化する。
→マニュアルを作成し、マニュアルに沿って防災と防犯（不審者）訓練を実施した。

(2) 人材育成

- ①沖縄市や沖縄県が主催する研修に積極的に参加し、専門職としてのスキルアップを図る。受講後は研修の学びや知識を皆で共有する。
→今年度は静岡県で開催された児童厚生員の研修に支援員1名を派遣した事や、沖縄市研修や沖縄市連絡会に参加、参加後は部署内会議で情報共有を行った。
- ②特別な支援を要する児童への対応について、指導員全員が情報や知識を共有し、統一した対応が出来る様に研修の参加や部内勉強会・事例検討会を定期的実施する。
→障害児研修（年4回）に支援員2名を派遣。研修後は部内会議で情報共有を行った。

(3) 保護者との連携

- ①毎月1回学童クラブ便りを発行、ブログの更新を随時行う。
→月1回の学童クラブ便りの発行や年8回ブログを更新し学童の様子を発信した。
- ②保護者に児童の様子を日々報告することや、個人面談で相談対応をする。
→迎え時に日々の報告を行った。必要時は個人面談で相談対応をした。
- ③年2回保護者会を開催し、運営や行事等について話し合う。
→年2回保護者会を開催し、児童の様子や行事等について保護者に伝えた。

(4) 学校との連携

- ①小学校との報告会を定期的に行い、情報共有や多角的な視点から支援を行う。
→小学校を訪問し校長や教頭、担任との情報交換や支援が必要な児童の対応について協議を行った。

(5) 環境整備

①児童の興味のある遊具や図鑑、本を購入する。

→図鑑や流行の遊具を購入した。

②壁紙や装飾等で楽しいと感じられるようなイメージ作りをする。

→季節に合った装飾を児童と共にいきなり楽しさや季節を感じることができた。

5. 行事・活動等

(行事・イベント内容及び参加人数)

4月	園外活動 美東公園 (6日)	23名
	デイサービス交流 1年生お披露目会 (16日)	37名
	園外活動 謝荊公園 (30日)	6名
5月	食育事業 茄子の植え付け (17日)	39名
	デイサービス交流 触れ合い交流 (18日)	25名
	朗読会 「可否の会」 (25日)	21名
6月	ていんさぐぬ花交流 5周年式典 (8日)	23名
	施設交流 地バーリー大会 (27日)	27名
	朗読会 「可否の会」 (22日)	19名
7月	学校域連携 諸見小報告会 (9日)	
	園外活動 八重島公園 (13日)	23名
	保護者会 (18日)	
	食育事業 茄子の収穫 (22日)	38名
	デイサービス交流 ダンス披露 避難訓練 (26日)	39名
	園外活動 桃原公園 (27日)	18名
8月	施設交流 苑内エイサー見学 (14日)	30名
	遠足 具志川火力発電所 (20日)	36名
	流しそうめん 芝生広場 (26日)	33名
	朗読会「可否の会」 園外活動 アラハ公園 (31日)	16名
9月	学校連携 諸見小授業参観 (20日)	
	学校連携 諸見小報告会 (24日)	
	朗読会 「可否の会」 園外活動 中城公園 (28日)	19名
	学校連携 諸見小授業参観 (30日)	
10月	園外活動 伊波公園 (5日)	20名
	園外活動 コザ運動公園 (12日)	23名
	施設交流 ハロウィン (22日)	32名
	朗読会 「可否の会」 (26日)	22名

11月	園外活動 美東公園（2日）	25名
	食育事業 ジャガイモ植え（6日）	32名
	学校連携 室川小授業参観（8日）	
	園外活動 県総合運動公園（9日）	24名
	学校連携 諸見小授業参観（21日）	
	朗読会 「可否の会」 園外活動 中城公園（30日）	19名
12月	園外活動 与那城公園（14日）	16名
	認知症サポーター要請講座 お楽しみクリスマス会（26日）	34名
	デイサービス交流 ダンス披露（27日）	23名
	朗読会 「可否の会」（28日）	19名
1月	園外活動 中城公園（4日）	12名
	園外活動 八重島公園（11日）	21名
	朗読会イベント あやかりの杜（18日）	21名
	園外活動 県総合運動公園（25日）	25名
	デイサービス交流 ダンス披露（27日）	23名
2月	園外活動 コザ運動公園（1日）	22名
	園外活動 コザ運動公園（8日）	21名
	園外活動 美東公園（15日）	13名
	デイサービス交流 おかし作り（22日）	25名
	保護者会（27日）	22名
3月	食育事業 ジャガイモ掘り（9日）	29名
	避難訓練（24日）	34名
	食育事業 カレー作り お別れ会（26日）	39名

（職員研修、勉強会等）

月	場 所	研修・勉強会名	参加人数
4月	沖縄市民会館	児童クラブと作業療法士の協働関係	1名
5月	沖縄市民会館	キャリアアップ事業「境界線を学ぶ」（性教育研修）	1名
	沖縄市民会館	放課後児童クラブ連絡会①	2名
6月	沖縄市役所	キャリアアップ事業「支援員の専門性と否認知能力」	1名
	沖縄市民会館	障がい児担当研修①	2名
	沖縄市福祉文化プラザ	放課後児童クラブの会計について	2名
	静岡県掛川市	児童厚生員研修（県外研修）	1名
7月	沖縄市民会館	障がい児担当研修②	2名
9月	沖縄市民会館	キャリアアップ事業「児童クラブ施設と環境整備」	1名

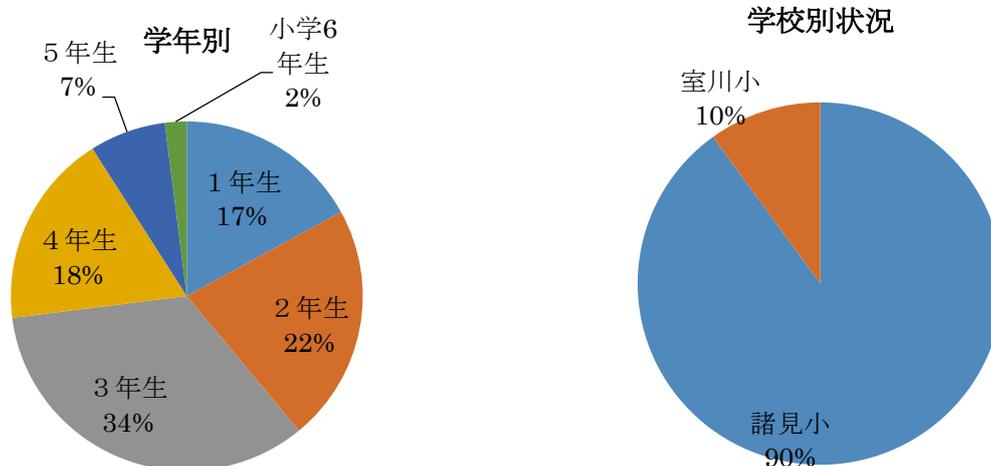
	沖縄市民会館	キャリアアップ事業「食物アレルギーについて」	1名
10月	沖縄市民会館	放課後児童クラブ連絡会②	2名
	沖縄市民会館	キャリアアップ事業「放課後児童クラブにおける防犯・防災マニュアル」①	2名
11月	沖縄市民会館	キャリアアップ事業「放課後児童クラブにおける防犯・防災マニュアル」②	1名
1月	沖縄市民会館	キャリアアップ事業「放課後児童支援員の働き方」	1名
	沖縄市民会館（中ホール）	放課後児童クラブ連絡会③	1名

6. 利用状況について

(1) 年間実績（利用日数）

開所 日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	25日	24日	25日	26日	26日	23日	26日	24日	25日	23日	23日	25日
小1	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
小2	10	10	10	10	10	10	10	9	9	8	8	8
小3	15	15	15	15	15	15	15	13	13	14	14	14
小4	7	7	7	8	8	8	8	7	7	7	7	7
小5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
小6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	43	43	43	44	44	44	44	40	40	40	40	40

(2) 児童の学年別、学校別の状況



(3) 入退状況

	入会	退会				
	小学生	クラブ活動	家庭保育	転校	習い事	計
4月	43	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0
10月	0	3	0	0	0	3
11月	0	0	0	0	0	0
12月	0	1	0	0	0	1
1月	1	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0
合計	44	4	0	0	0	4

ケアハウスはいびすかす

ケアハウスはいびすかす 事業報告

1. 総括

令和2年1月に介護サービスの在り方の見解の違いから退所された利用者の家族より苦情があり、国保連第三者委員会による調査・聴き取りの後、書面で指導及び助言を受けるに至った。ケアハウスとして提供し得る介護サービスの在り方を見直すこととなる。

終末期ケアに関して地域の訪問診療とこれまで以上の連携を取り「看取り」に取り組み、職員の知識改革や実践を踏まえ勉強会・講習会を行った。

介護職員において人手不足の状況が続き7月から1月の間、各事業所へ応援派遣を依頼する状況となった。人材紹介業者より5名の介護職員を採用したが令和2年4月現在定着は2名である。十分な職員確保には至らない状況である。

2. 運営状況

年間稼働目標は97.0%。令和2年1月～3月平均稼働率が94.0%となる。最終年間平均稼働率は97.3%。

定例の手作りおやつ会は厨房職員が主導して行い、趣向を凝らしたおやつを提供した。またクリスマス忘年会において去年に引き続きバイキング形式を実施した。

また、「終末期のケア」「看取り」に取り組み、医師による講習会を開催した。令和1年度は3利用者の看取りをおこなった。

3. 事業状況

(1) 資質向上

①利用者の健康管理の強化。

口腔ケアについては歯科医・歯科衛生士の指導を受けながら誤嚥性肺炎等感染症の防止に努めた。インフルエンザやその他の感染症等の大きな発生はなかった。

②生活のマナー化を防ぐためのアクティビティ

行事の企画立案は現場主導で実施することで季節ごとに趣向を凝らした活動ができた。月ごとの行事計画を作成し実施した。母の日会や父の日会、クリスマス忘年会には余興に外部より演者を招いた。ミニドライブや遠遊会は人員不足により実施できなかった。

③人材育成

新人職員の指導については、先輩職員を配置することが困難ではあったがフロア単位での指導に切り替え各階主任を中心とした指導を行った。中堅以上の職員は、「身体拘束」「虐待防止」等の外部研修に参加し、その後施設内研修を開いて他職員と知識の共有、技術の向上に努めた。また外部研修を中部地区近隣の複数の法人と共同開催し、多岐にわたる内容の研修に職員を派遣した（5法人研修）。

④終末ケアの導入

医師による講習会を開催した。令和1年度は3利用者の看取りをおこなった。

(2)『食』の改善

①ケアハウス専属の管理栄養士の配置

管理栄養士の配置はできなかったが、定例の手作りおやつ会は給食委員会及び厨房職員が主導して行い、趣向を凝らしたおやつを提供した。またクリスマス忘年会において去年に引き続きバイキング形式を実施した。

(3) 職員自主研修費用助成

介護福祉士実務者研修3名の職員に費用助成をおこなった。介護福祉士合格者は1名。

(4) 整備状況

①補修・修理

フロア空調設備の修繕や手洗い蛇口の故障が相次ぎ補修交換を行った。居室の手洗いは8台のセンサー式蛇口を手動式に交換した。非常用の照明設備の交換を行った。

②購入・新規設置

導入予定のトランシーバーは2週間の試運用の結果、現場において効率的ではないとの検証結果から導入見送りとした。10月に介護ソフト「ほのぼの」のモバイル端末を各フロアに設置し業務効率化を図った。パソコン等の買い替えはなし。ワゴン車の導入は人員状況の改善やピクニック実施の目途が立たず見送りとなった。

4. 各種委員会・勉強会

	会議・委員会・勉強会	
4月	褥瘡防止委員会 (15日)	4名
	身体拘束適正化検討委員会 (15日)	5名
	主任会議 (8日)	4名
	感染防止委員会 (23日)	5名
	2階フロア会議 (21日)	3名
	4階フロア会議 (22日)	3名
	3階フロア会議 (28日)	4名
5月	褥瘡防止委員会 (20日)	3名
	身体拘束適正化検討委員会 (20日)	3名
	事故防止委員会 (18日)	4名
	防災委員会 (23日)	4名
	2階フロア会議 (22日)	3名
	4階フロア会議 (26日)	4名
6月	褥瘡防止委員会 (30日)	4名
	身体拘束適正化検討委員会 (21日)	4名
	事故防止委員会 (25日)	5名
	防災委員会 (30日)	3名
	感染防止委員会 (48日)	6名

	部内会議 (6日)	7名
	2階フロア会議 (15日)	5名
	4階フロア会議 (23日)	4名
7月	褥瘡防止委員会 (23日)	3名
	身体拘束適正化検討委員会 (23日)	5名
	事故防止委員会 (21日)	4名
	リスクマネジメント委員会 (26日)	5名
	部内会議 (8日)	6名
	主任会議 (3日)	3名
	3階フロア会議 (15日)	4名
	2階フロア会議 (25日)	4名
8月	4階フロア会議 (30日)	5名
	褥瘡防止委員会 (18日)	4名
	身体拘束適正化検討委員会 (30日)	4名
	事故防止委員会 (28日)	5名
	リスクマネジメント委員会 (28日)	4名
	防災委員会 (22日)	3名
	感染防止委員会 (1日)	5名
	主任会議 (3日)	5名
9月	2階フロア会議 (18日)	6名
	4階フロア会議 (22日)	3名
	褥瘡防止委員会 (11日)	4名
	身体拘束適正化検討委員会 (22日)	4名
	リスクマネジメント委員会 (20日)	5名
	主任会議 (3日)	3名
10月	3階フロア会議 (13日)	4名
	4階フロア会議 (27日)	4名
	褥瘡防止委員会 (18日)	4名
	身体拘束適正化検討委員会 (23日)	4名
	リスクマネジメント委員会 (30日)	3名
	感染防止委員会 (21日)	4名
	主任会議 (3日)	4名
	2階フロア会議 (22日)	6名
11月	3階フロア会議 (28日)	4名
	4階フロア会議 (30日)	5名
	褥瘡防止委員会 (21日)	4名
	身体拘束適正化検討委員会 (22日)	4名
	リスクマネジメント委員会 (25日)	5名
	部内会議 (9日)	6名
	感染防止委員会 (22日)	4名
	主任会議 (8日)	3名
12月	主任会議 (22日)	3名
	4階フロア会議 (13日)	3名
	褥瘡防止委員会 (22日)	3名
	身体拘束適正化検討委員会 (21日)	3名
	リスクマネジメント委員会 (22日)	4名
	感染防止委員会 (11日)	5名
	主任会議 (30日)	5名
1月	3階フロア会議 (30日)	3名
	4階フロア会議 (27日)	4名
1月	褥瘡防止委員会 (31日)	4名
	身体拘束適正化検討委員会 (30日)	3名

	部内会議 (8日)	9名
	2階フロア会議 (8日)	4名
	4階フロア会議 (22日)	4名
2月	防災委員会 (25日)	3名
	部内会議 (8日)	6名
	主任会議 (3日)	3名
	主任会議 (28日)	4名
	3階フロア会議 (21日)	4名
	4階フロア会議 (9日)	4名
3月	3階フロア会議 (18日)	4名
	4階フロア会議 (14日)	4名

5. 行事・活動等

年間計画報告

	行事	
4月	書道クラブ (9/23日)	7/13名
	手芸クラブ (20日)	15名
	カラオケクラブ (5/19日)	18/17名
	三板クラブ (10/22日)	7/10名
	ミニシアター (4/13日)	23/21名
	誕生会 (27日)	32名
	民舞クラブ (2日/6日)	15/19名
	手作りおやつ (12日)	2名
5月	書道クラブ (14/28日)	11/7名
	手芸クラブ (18日)	11名
	カラオケクラブ (3/13日)	24/25名
	お茶会 (21日)	19名
	三板クラブ (8/22日)	21/17名
	ミニシアター (2/16日)	21/16名
	誕生会 (25日)	39名
	手作りおやつ (10日)	23名
6月	母の日会 (11日)	45名
	書道クラブ (11/25日)	11/9名
	お茶会 (18日)	29名
	三板クラブ (12/21日)	15/15名
	ミニシアター (6/20日)	23/22名
	誕生会 (22日)	30名
	手作りおやつ (14日)	23名
7月	父の日会 (15日)	34名
	書道クラブ (9/23日)	8/10名
	手芸クラブ (20日)	19名
	カラオケクラブ (5/19日)	2/27名
	三板クラブ (10/22日)	17/12名
8月	七夕会 (6日)	23名
	書道クラブ (13/27日)	8/5名
	手芸クラブ (13日)	5名

	カラオケクラブ (2/16日)	16/13名
	手作りおやつ (10日)	20名
	三板クラブ (28日)	12名
	ミニシアター (1/15日)	15/17名
	誕生会 (30日)	34名
9月	書道クラブ (10/22日)	9/11名
	カラオケクラブ (6/20日)	14/19名
	お茶会 (13日)	24名
	三板クラブ (11/25日)	11/13名
	ミニシアター (5/18日)	14/11名
	誕生会 (30日)	38名
	手作りおやつ (13日)	22名
敬老会 (14日)	46名	
10月	書道クラブ (8/22日)	9/8名
	手作りおやつ会 (11日)	15名
	カラオケクラブ (4/18日)	12/12名
	手芸クラブ (19日)	12名
	三板クラブ (9/23日)	10/10名
	運動会 (10日)	38名
11月	書道クラブ (12/21日)	12/10名
	手芸クラブ (8日)	12名
	カラオケクラブ (15日)	14名
	三板クラブ (13/27日)	15/14名
	ミニシアター (7/21日)	18/25名
	誕生会 (23日)	43名
手作りおやつ会 (9日)	15名	
12月	書道クラブ (10/22日)	13/16名
	手芸クラブ (14日)	9名
	カラオケクラブ (6/20日)	21/22名
	お茶会 (13日)	22名
	三板クラブ (11/25日)	11/11名
	ミニシアター (5/19日)	21/17名
	手作りおやつ会 (13日)	24名
	クリスマス会 (21日)	50名
1月	新年あいさつ会 (3日)	40名
	カラオケクラブ (4日)	名
	ミニシアター (16日)	10名
	書道クラブ (28日)	5名
	三板クラブ (22日)	12名
2月	三板クラブ (12/21日)	9/14名
	ミニシアター (6日)	7名
	書道クラブ (11/25日)	8/9名
	手作りおやつ会 (14日)	2名
3月	書道クラブ (11日)	10名
	手芸クラブ (15日)	7名
	カラオケクラブ (7/21日)	7/20
	三板クラブ (12/21日)	15/18名

	ミニシアター (6/20日)	18/19名
	手作りおやつ会 (14日)	22名

クラブ活動

クラブ名	回数 (年度)	参加人数 (1回当たり)
書道クラブ	24	9
カラオケ	18	15
三板クラブ	21	10
ミニシアター	23	21
誕生会	11	31

行事活動

行事	場所	参加
母の日会 (5月)	はいびすかす	45
父の日会 (6月)	はいびすかす	34
敬老会 (9月)	はいびすかす	46
運動会 (10月)	はいびすかす	46
クリスマス会 (12月)	はいびすかす	50

その他

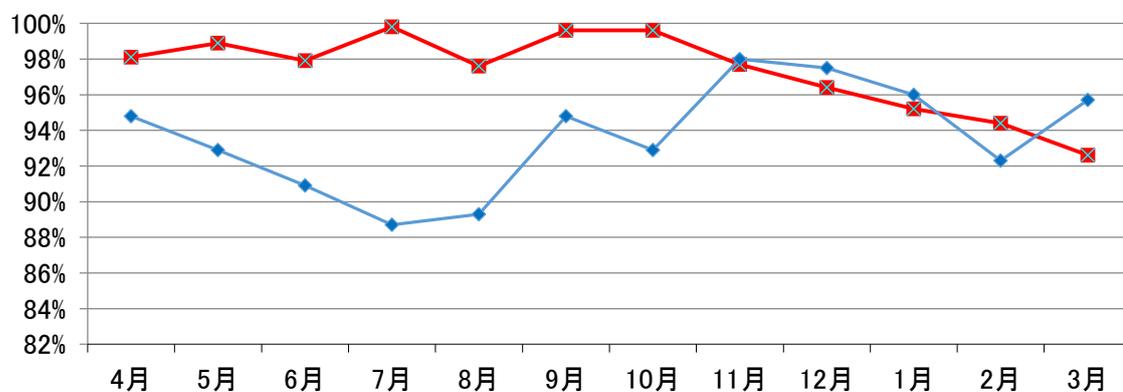
5月	防災訓練 (23日)
6月	防災機器自主点検 (27日)
7月	家族会清掃及び総会 (7日)
8月	総合防災訓練・沖縄市消防立会・エノビ防災 (22日)
10月	防災設備等点検 (23日) エノビ防災技研 (株) 消防報告済
2月	防災機器自主点検 (25日)
12月	簡易専用水道検査済 (21日)
3月	総合防災訓練/沖縄市消防立会・エノビ防災 (27日)

6. 利用者状況

(1) 年間実績 (利用日数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
日数	1500	1550	1500	1550	1550	1500	1550
入居	1423	1533	1469	1548	1514	1495	1544
入院	26	17	31	2	36	5	6
稼働率	98.1%	98.9%	97.9%	99.8%	97.6%	99.6%	99.6%
前年稼働率	94.8%	92.9%	90.9%	88.7%	89.3%	94.8%	92.9%
月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
日数	1500	1550	1550	1450	1550	18,300	
入居	1466	1495	1477	1370	1436	17,821	
入院	34	55	73	80	114	479	
稼働率	97.7%	96.4%	95.2%	94.4%	92.6%	97.3%	
前年稼働率	98.0%	97.5%	96.0%	92.3%	95.7%	93.7%	

月間稼働率推移 青—平成30年度 赤—令和1年度



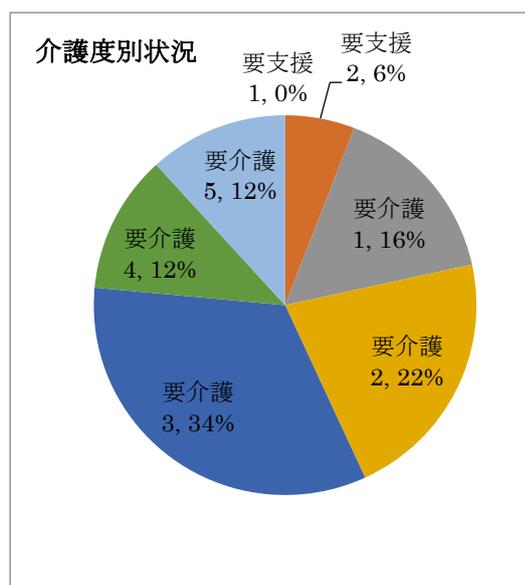
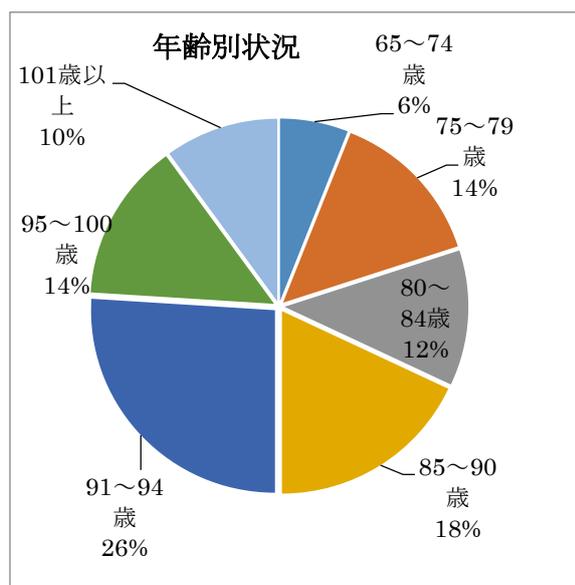
(2-1) 入居者の性別、要介護度別、年齢別の状況（要支援）

	要支援 1		要支援 2		計	
	男	女	男	女	男	女
65～69歳	0	0	0	0	0	0
70～74歳	0	0	0	0	0	0
75～79歳	0	0	0	0	0	0
80～84歳	0	0	0	0	0	0
85～89歳	0	0	1	2	1	2
90～94歳	0	0	0	0	0	0
95～99歳	0	0	0	0	0	0
100歳以上	0	0	0	0	0	0
計	0	0	1	2	1	2
平均年齢	0.0	0.0	86.9	89.3	86.9	89.3

(2-2) 入居者の性別、要介護度別、年齢別の状況（要介護）

	要介護 1		要介護 2		要介護 3		要介護 4		要介護 5		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
65～69歳	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	0
70～74歳	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
75～79歳	2	0	2	0	1	1	0	1	0	0	5	2
80～84歳	0	0	0	0	1	2	1	0	1	1	3	3
85～89歳	0	0	0	1	0	4	0	0	0	1	0	6
90～94歳	1	3	1	4	1	3	0	0	0	0	3	10
95～99歳	0	0	0	1	0	3	1	1	0	1	1	6
100歳以上	0	0	0	1	0	1	0	1	0	2	0	5
計	4	4	4	7	3	14	3	3	1	5	15	33
平均年齢	77.5	88.2	86.9	89.0	81.3	88.4	92.7	94.7	91.5	99.2	84.5	90.4

最高年齢 107 歳、最少年齢 65 歳、平均年齢 88.6 歳（男性 84.6 歳 女性 90.5 歳）



※年間累積利用者（51名）で計算。

(3) 入退居状況

	入 居			退 居				
	在宅	施設	計	死亡	医療機 関	他施設	在宅	計
4月	0	2	2	1	0	0	0	1
5月	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	1	0	1
7月	1	0	1	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	1(1)	0	0	0	1
12月	1	0	1	0	0	1	0	1
1月	0	0	0	2(2)	0	0	0	2
2月	1	0	1	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	1	0	0	0	1
合計	3	2	5	5	0	2	0	7

※退居死亡欄の（ ）は施設内看取り数

ケアハウスていんさぐぬ花

ケアハウスていんさぐぬ花 事業報告

1. 総括

利用者サービスは、日々の体操やレク活動、口腔ケア、入浴の実施で身体の清潔の保持に努め、インフルエンザ等の感染もなく状態を維持する事ができた。県の実地指導があり1件改善する事ができた。開所5周年記念事業を実施できた。介護員等特定処遇改善加算を取得し支給する事ができた。ご家族様が面会や行事へ参加する事で、利用者の近況を共有する事ができた。新型コロナウイルス感染予防対策で面会制限を実施した。

2. 運営状況

毎月1日付け定員50名（内2名は自立）は維持できた。入退去相談は、本人や家族の意向を聞き取り、関係機関や同法人施設とも連携しニーズに応えるように努めた。心身の変化は早期発見し、食事形態の見直しや居室にセンサーを設置するなどリスクの軽減に努めた。又、ご家族の協力を得ながら必要に応じ早期受診を促し状態の悪化を防ぐ事に努めた。稼働率は97.6%（目標97.5%。前年度実績96.7%）を達成できた。地域貢献については、週1回空手教室を開講できた。地域住民の居場所作りで、沖縄市地域包括支援センター東部南と連携し、12月より施設1階を開放し高齢者サロンを毎週月曜日実施できた。マイクロバスを貸出しできた。地元自治会の草刈り作業・自主防災訓練・納涼祭等に参加し交流を深めた。

3. 事業状況

(1) 利用者サービス

- ①管理栄養士が作成した献立を提供できた。
- ②介護員の見守りで安心・安全な入浴を実施。身体の清潔を保てた。
- ③歯科衛生士の助言に基づいた口腔ケアを実施し、おおむね肺炎を予防できた。
- ④個別機能訓練計画に基づいた機能訓練を実施し、おおむね転倒を予防できた。
- ⑤看護師による薬管理やかかりつけ医との連携で、おおむね健康を保てた。
- ⑥生活相談員が、本人やご家族の意向に寄り添い入退去相談ができた。
- ⑦屋外活動（ドライブ）は2回実施できた。比屋根自治会納涼祭りに参加できた。
- ⑧誕生者を外出先で祝う事ができた。
- ⑨お茶会にボランティアをお招きし内容が充実した。
- ⑩ハロウィーン交流会にみどり学童児を招き内容が充実した。

(2) 人材育成

- ①役職員がOJTを意識し指導できた。
- ②主任会議や勉強会を実施できた。
- ③緑樹会事務局主催の研修や勉強会に参加できた。

- ④権利擁護等の県内外研修へ参加できた。
- ⑤介護員1名が介護福祉士国家試験に合格した。
- ⑥自主研修費用助成の利用はなかった。
- ⑦雇用はハローワークの利用や職員紹介で採用できた。

資料1

月	会議・勉強会	参加人数
4月5日	主任会議	6名
4月5日	勉強会・ポジショニングについて	8名
5月7日	主任会議	6名
5月20日	勉強会（事業計画及びアクションプランについて）	5名
5月30日	2階フロア会議	6名
6月4日	主任会議	5名
7月5日	主任会議	4名
8月2日	主任会議	5名
8月6日	勉強会（権利擁護について）	5名
8月20日	3階フロア会議	5名
8月26日	勉強会（AEDについて）	9名
9月3日	主任会議	5名
10月2日	主任会議	4名
10月4日	勉強会（権利擁護、パーソンセンタードケアについて）	5名
10月22日	臨時主任会議	5名
11月1日	主任会議	7名
11月8日	勉強会（ケア業務内容及び人間の尊厳と介護の基本について）	9名
11月10日	2階フロア会議	4名
11月29日	3階フロア会議	5名
12月3日	主任会議	6名
12月6日	勉強会（腰痛について）	6名
12月18日	2階フロア会議	6名
12月27日	3階フロア会議	6名
令和2年 1月7日	主任会議	5名
1月29日	勉強会（コミュニケーション及びメンタルヘルスについて）	7名
2月4日	主任会議	6名

3月3日	主任会議	6名
3月13日	勉強会（感染予防について）	7名

資料2

月	場 所	研修・勉強会名	参加人数
4月5日	緑樹苑	係長・主任研修	0名
4月19日	緑樹苑	経理勉強会	1名
4月25日	緑樹苑	人材確保会議	1名
5月9日	緑樹苑	人材確保会議	2名
5月16日	緑樹苑	経理勉強会	2名
5月24日	緑樹苑	中堅職員研修	0名
6月18日	緑樹苑	経理勉強会	2名
6月20日	緑樹苑	虐待防止研修	1名
7月18日	緑樹苑	経理勉強会	1名
7月24、25日	各施設	施設間職員派遣研修	1名
8月16日	緑樹苑	ステップアップ研修	1名
8月22日	緑樹苑	人材確保会議	1名
9月20日	緑樹苑	働き方改革セミナー	1名
9月20日	緑樹苑	定年退職セミナー	1名
9月25日	はいびすかす	介護施設の為の基礎医療	6名
9月27日	緑樹苑	経理勉強会	2名
10月21日	緑樹苑	経理勉強会	1名
11月21日	緑樹苑	経理勉強会	2名
11月22日	緑樹苑	中堅職員研修Ⅱ	1名
11月28日	緑樹苑	ステップアップ研修	1名
12月19日	緑樹苑	経理勉強会	1名
12月19日	緑樹苑	管理職研修	1名
令和2年1月20日	緑樹苑	経理勉強会	1名
2月26日	緑樹苑	経理勉強会	1名
3月26日	緑樹苑	経理勉強会	2名

資料3

月	場 所	研修・勉強会名	参加人数
7月30日	沖縄市民会館	介護職員等特定処遇改善加算 取得セミナー	2名
9月5日	中部保健所	口腔ケア研修会	1名

9月13日	北中城村総福祉センター	成年後見制度理解促進研修会	1名
9月27日	緑樹苑デイサービスセンター	5法人合同勉強会「褥瘡、インフルエンザについて」	2名
10月9日	宜野湾コンベンションセンター	沖縄県社会福祉大会	1名
10月16日	県総福祉センター	令和元年度県民教養講座	1名
11月8日	県総福祉センター	労働関係セミナー	1名
11月9日	県総福祉センター	沖縄県老人福祉施設職員研究大会	1名
11月18日	中城村吉の浦会館	安全運転管理者講習	1名
11月28日	宜野湾コンベンションセンター	年末調整説明会	1名
11月28日	福祉文化プラザ	虐待について	3名
11月29日	沖縄市民会館	沖縄市高齢者虐待防止講演会	1名
令和2年 2月13日	県総福祉センター	マネジメント研修	1名

資料4

月	場 所	研修・勉強会名	参加人数
7月17日～ 7月19日	佐賀県	九州老人福祉施設研究大会	1名
10月28日 ～10月31日	愛媛県	全国老人福祉施設大会・愛媛大会	1名

(3) 設備・環境整備について

- ①専門業者が、受水槽・電力・エレベーター・自動ドア・消防機器等の設備点検実施。安全管理に努めた。建物調査も実施し異常なく県に報告できた。
- ②車いすや車両等を定期的に清掃できた。また館内外の害虫駆除も実施できた。
- ③池のポンプ移設や配管工事を行い、水質を改善できた。草刈りを実施できた。
- ④クーラーの故障が5件あり修繕した。電力メーターに不具合があり、相見積りの上修繕できた。

(4) 安全衛生について

- ①タイムチェック機器側に、求める職員像（挨拶・笑顔・思いやり）を掲示し、コミュニケーションの意識を高めた。
- ②健康診断やストレスチェックを実施し、職員の心身の健康管理に努めた。

③安全衛生委員会との連携

月	場 所	会議、研修名	参加人数
6月3日	緑樹苑	ラインによるケア研修	2名
9月10日	緑樹苑	職員アンケート調査実施について	1名
10月9日	緑樹苑	職員アンケート調査結果について	1名
11月28日	緑樹苑	インフルエンザ予防接種受診結果報告、他について	1名
12月16日	ていんさぐ ぬ花	寄せ植え教室	3名

(6) 経費節減について

- ①館内や居室は定期的な喚起や必要に応じた冷暖房機の使用で快適に過ごせた。
- ②食事中や活動中は、冷暖房機や扇風機を利用し快適に過ごせた。
- ③物干し竿も利用する事で乾燥機の使用が減った。
- ④照明は適切に使用できた。水の使用は定期的に居室などを見回りし、出しっぱなしを防いだ。
- ⑤反故紙を利用できた。
- ⑥AEDなどのリース内容を見直す事ができた。
- ⑦設備資金借入返済を毎月払いにした事で利息の軽減ができた。

4. 行事活動状況

月	行事・イベント名	参加人数
4月	家族会総会 (13日)	4名
	誕生会 (18日)	1名
	浜下り (22日)	14名
	防災訓練 (24日)	
	散髪 (25日)	22名
5月	母の日会 (10日)	41名 家族19名
	誕生会 (16日)	3名
	散髪 (23日)	18名
	防災訓練 (30日)	
6月	5周年記念講演 (8日)	28名
	父の日祝い会 (14日)	44名

	地バーリー (15日)	12名
	第34回緑樹会記念グラウンドゴルフ大会 (21日)	2名
	散髪 (27日)	22名
	家族会清掃及び総会 (28日)	10名 家族13名
7月	七夕会 (8日)	37名
	第25回参議院議員選挙不在者投票 (17日)	13名
	6、7月誕生会 (18日)	6名
	散髪 (25日)	24名
8月	旧盆エイサー (13日)	34名
	防災訓練 (19日)	
	誕生会 (22日)	2名
	比屋根自治会納涼祭り (31日)	3名
9月	敬老会 (21日)	46名 家族13名
	散髪 (26日)	17名
10月	運動会 (10日)	42名
	防災訓練 (16日) 消防立会	
	9月、10月誕生会 (16日)	9名
	ハロウィーン交流会 (22日)	30名 ※みどり学童クラブ
	散髪 (24日)	24名
	利用者健康診断 (28日)	33名
11月	11月誕生会 (21日)	8名
	家族会清掃及び懇親会 (23日)	家族18名
	遠遊会 (25日)	10名
	散髪 (28日)	21名
	防災訓練 (29日)	
12月	防災訓練 (20日)	
	誕生会 (20日)	3名
	沖縄市福祉まつり (22日)	0名
	クリスマス忘年会 (24日)	42名 家族2名
	散髪 (26日)	16名
1月	初詣ドライブ (6日)	8名
	新春お茶会 (11日)	41名 家族2名

		ボランティア 2名
	誕生会 (15日)	5名
	散髪 (23日)	22名
2月	誕生会 (20日)	2名
	散髪 (27日)	20名
3月	ひなまつりお茶会 (6日)	
	防災訓練・消防立会 (13日)	
	誕生会 (19日)	3名
	散髪 (26日)	12名

レク活動

クラブ名	回数	参加人数 (1回当たり)
カラオケ	38	20
歌声	13	19
ビデオ鑑賞	43	16
民舞	29	20
ドライブ	2	12
三板	12	21
塗り絵	17	17
お茶会	2	42
ボーリング	7	19
輪投げ	11	19
手工芸	40	20
フラダンス	0	0
スカッシュボール	8	19
体操	249	19
脳トレ	25	18
ボール回し	4	17
習字	7	14

5. 各種委員会

月	会議名	参加人数
4月24日	身体的拘束等適正化検討委員会	7名
5月30日	苦情解決委員会	4名

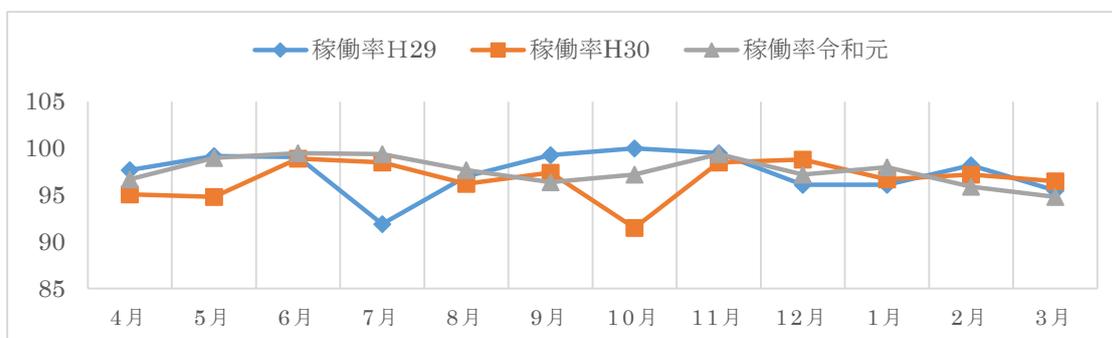
7月5日	行事委員会	5名
7月26日	身体的拘束等適正化検討委員会	6名
7月26日	リスクマネジメント委員会	6名
7月26日	防災委員会	5名
8月3日	感染症予防対策委員会	4名
10月23日	感染症予防対策委員会	5名
11月29日	経費削減委員会	4名
12月30日	感染症予防対策委員会	4名
1月30日	リスクマネジメント委員会	5名
1月30日	身体拘束廃止委員会	5名
1月31日	苦情解決委員会	6名
2月15日	感染症予防対策委員会	7名
3月27日	身体的拘束等適正化検討委員会	5名

6. 事業実績

①年間実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
入居	50名						
入院	4名	2名	1名	1名	6名	7名	5名
稼働率	96.7%	99.0%	99.5%	99.4%	97.7%	96.4%	97.2%
月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
入居	50名	50名	50名	50名	50名	600	
入院	2名	5名	4名	6名	4名	47名	
稼働率	99.4%	97.2%	98.0%	95.9%	94.8%	97.6%	

②月間利用入居実績前年度比較



③入退居状況

(単位:人)

	入 居			退 去				
	在宅	施設	計	死亡	医療機 関	他施設	居宅	計
4月	1	0	1	0	1	0	0	1
5月	1	0	1	0	0	0	0	0
6月	2	0	2	0	0	2	0	2
7月	1	0	1	0	0	1	0	1
8月	2	0	2	0	1	1	0	2
9月	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	1	0	1	0	0	1	0	1
1月	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	1	0	1	0	1	0	0	1
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	9	0	9	0	3	5	0	8

④入居者の性別、年齢別、要介護度別の状況

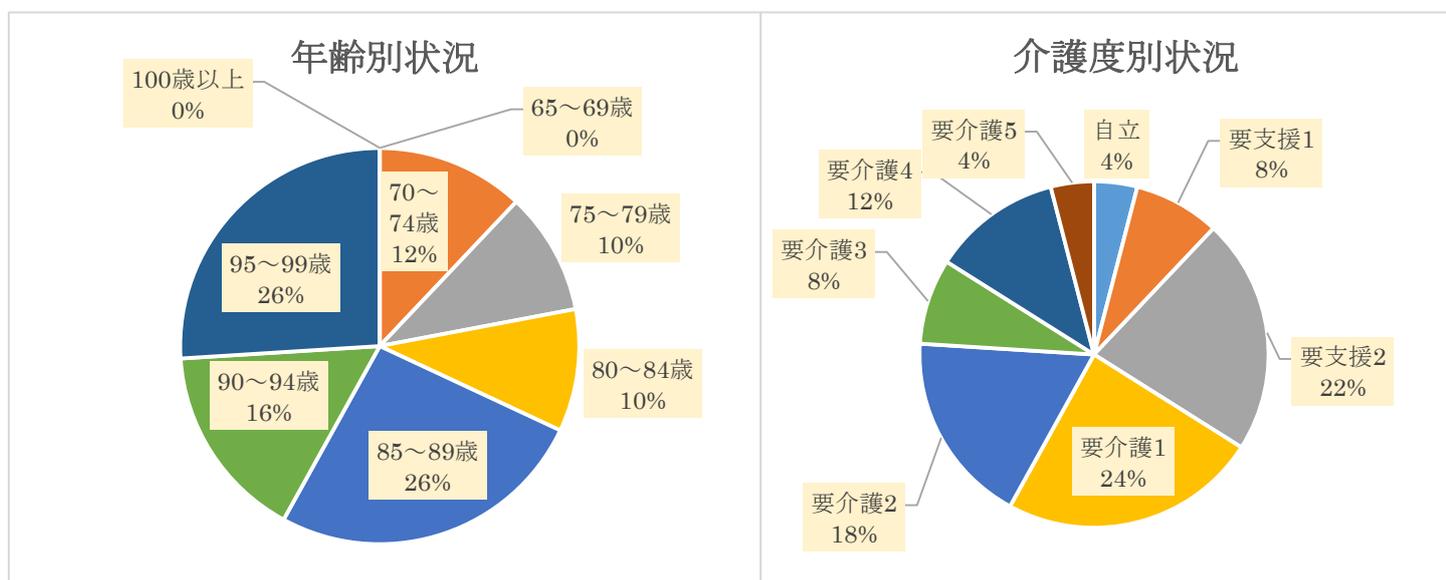
(単位:人)

令和元年度	自立		要支援1		要支援2		計		総合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
65～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～74歳	0	0	1	0	1	1	2	1	3
75～79歳	1	1	0	0	0	0	1	1	2
80～84歳	0	0	0	0	1	1	1	1	2
85～89歳	0	0	0	1	2	2	2	3	5
90～94歳	0	0	1	0	0	2	1	2	3
95～99歳	0	0	0	1	0	1	0	2	2
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	1	2	2	4	7	7	10	17
平均年齢	79	78	83.5	92	83.5	86.5	81.2	85.5	83.3

(単位:人)

令和元年度	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		計		総合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
65～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～74歳	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	2	1	3
75～79歳	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	3
80～84歳	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4
85～89歳	0	1	3	1	0	1	0	2	0	0	3	5	8
90～94歳	1	1	0	1	0	0	1	1	0	0	2	2	4
95～99歳	0	5	1	0	1	1	0	2	0	1	2	9	11
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	11	7	2	1	3	1	5	0	2	10	23	33
平均年齢	83.8	98.5	83.8	89.5	98.0	87.6	90.0	92.8	0	85	90.4	88.7	89.6

- ・最大年齢 99 歳、最小年齢 72 歳
- ・平均年齢：男性 86.8 歳、女性 87.5 歳、計 87.2 歳
- ・平均介護度：1.6



その他

4月1日	辞令交付式（桃原賢治施設長）
5月11日	美里工業高校企業説明会（小渡修課長）
5月14日・15日	法人監査
5月28日	県実地指導
5月31日	沖縄国際大学生施設見学（14名）
6月6日	沖縄県高齢者福祉施設長等会議（桃原賢治施設長）
6月8日	緑樹会会社説明会（桃原賢治施設長）
7月4日	美里工業高校新卒者求人案内（桃原賢治施設長）
7月7日	金城和昌会長を偲ぶ会
7月17日	北中城高校新卒者求人案内（桃原賢治施設長）
7月25日	保護者職場体験（中城小学校6年生1名）
8月9日	陽明高校生施設見学
8月13日	小地域ネットワーク会議（小渡修課長）
8月18日	比屋根自治会清掃活動（桃原賢治施設長）
8月20日	県監査
8月28日～8月29日	沖縄国際大学生実習3名
9月8日	比屋根自治会自主防災訓練（下地義治係長）
9月9日	嘉手納高校施設見学・実習6名
10月23日	社会保険監査
10月26日	琉湛会様歌碑巡りツアー
10月31日	職員インフルエンザ予防接種
11月8日	実務者研修受講生4名施設見学
11月18日	美里児童園求人案内（桃原賢治施設長）
11月24日	比屋根自治会敬老会（小渡修課長）
11月27日	建物検査（桃原賢治施設長）
12月16日	創立40周年記念事業遊歩道お披露目会（桃原賢治施設長）
12月16日	安全衛生委員会主催・寄植教室（3名）
5月24日・8月8日・11月11日・令和2年2月12日	害虫駆除
令和2年1月17日	受水槽清掃
令和2年3月13日	水質検査
令和2年3月27日	定年退職者慰労会（桃原賢治施設長）
5月17日、7月12日、9月10日、11月8日、令和2年1月24日、3月17日	電気設備点検
毎月1回	エレベーター点検
毎月1回	電気保安点検
毎月1回	グリストラップ清掃
10月18日・令和2年3月25日	自動ドア点検